

### Ⅲ-3. 大学院（放送授業）

ここからは、全体との比較で当該科目がどういう傾向にあったのかを見ていきたい。

大学院については、専攻プログラム別（中区分）の自由記述の集計結果から、よかった点は、当該科目について回答された項目が5%以上となったものを掲載した。

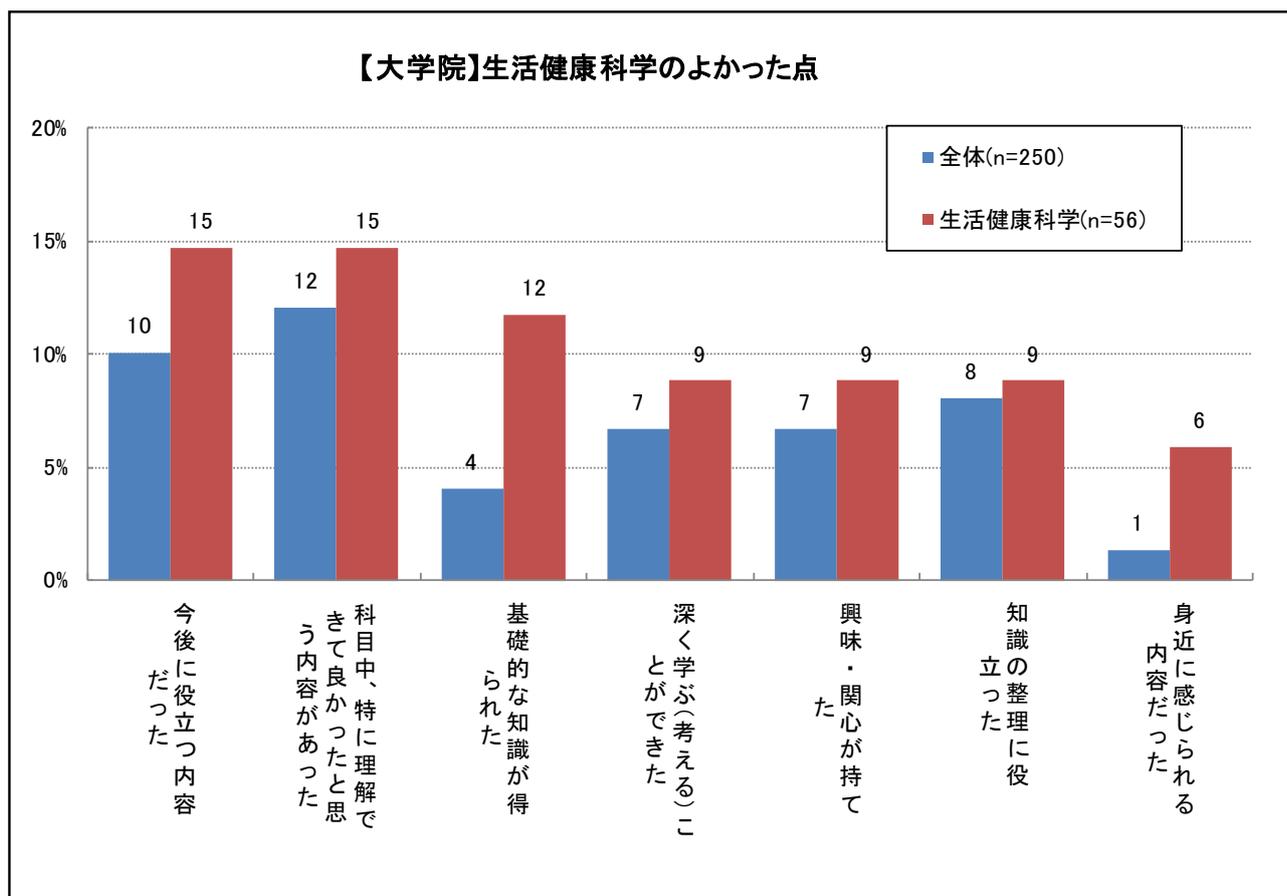
改善点は、当該科目について回答された項目のうち、5%以上、または上位5項目について掲載した。

#### 【大学院】「生活健康科学」の傾向

##### よかった点

「今後役に立つ内容だった」「科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった」が15%で最多。以下、「基礎的な知識が得られた」が12%、「深く学ぶ（考える）ことができた」「興味・関心が持てた」「知識の整理に役立った」が9%で続いていた。

図4-1 【大学院】よかった点

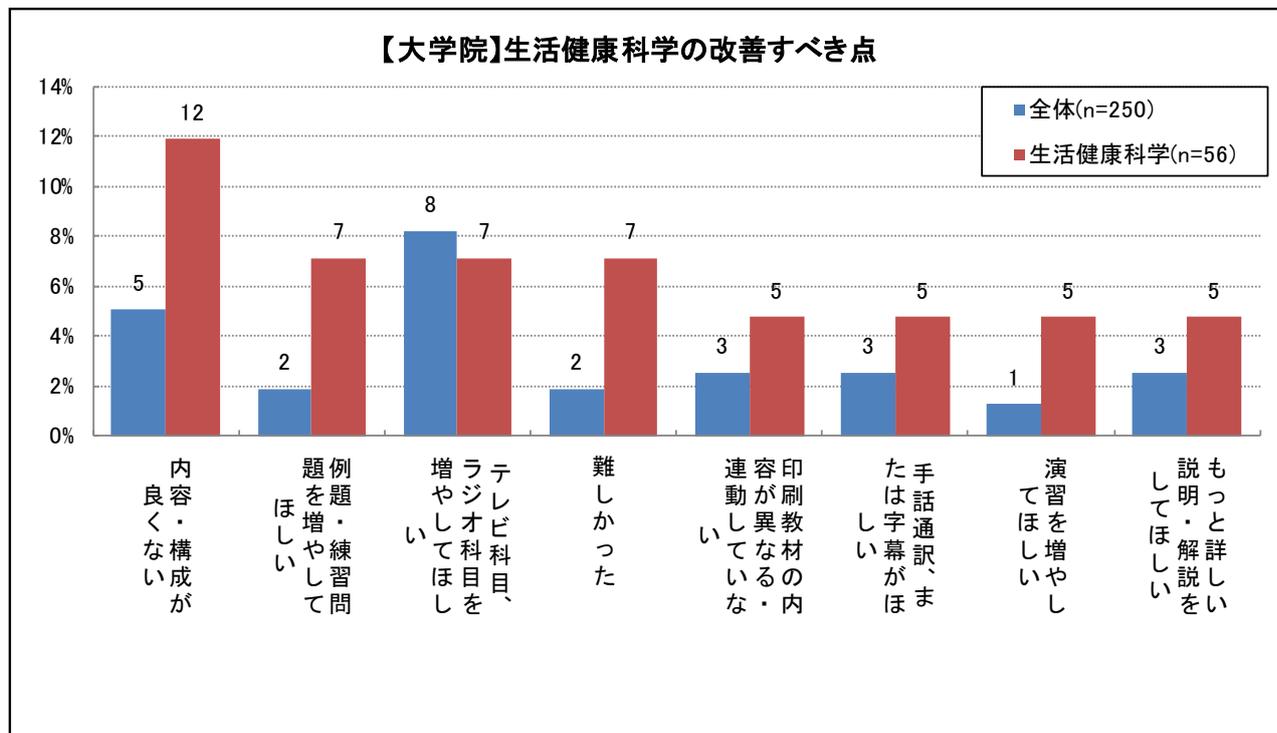


## 【大学院】「生活健康科学」の傾向

### 改善点

「内容・構成が良くない」が12%で最多。以下、「例題・練習問題を増やしてほしい」、「テレビ科目、ラジオ科目を増やしてほしい」「難しかった」が7%で続いていた。

図4-2 【大学院】改善すべき点



## 【大学院】「生活健康科学」 抜粋

### よかった点

- とても視野が広がったと思います。
- スポーツを違う角度で見ることができた。興味深い内容がたくさんあった。
- 修士課程の最初に調査方法論を体系的に学びたいと思い履修。知りたいと思った基礎的なところまで丁寧に解説して下さった点がありがたかったです。
- リスクについての基本的な認識が間違っていたため、とても納得が出来て、受講して良かったです。
- 興味深い内容であり、受講して良かったと思う。
- 様々な観点からのリスクを取り上げてもらい、理解が深まる。そして、より自身の考えが深まった。
- リスク論を整理して理解することができた。生活者の立場でリスクを考えることの重要性を再認識することができた。
- 研究方法論について理解が深まった。
- 現代社会において、スポーツというものの役割、意義、我々の生活における意味合い等について考えることができた。
- 論文作成に必要なアンケート作成方法とデータの扱い方が分かったこと。
- 生活におけるリスクを様々な視点から学ぶことができた。生活リスクを身近に感じることができた。
- スポーツ科学とはどういう科目か、全体を把握できた。また、自分が関わっているスポーツと関連づけて考えられた。
- これから研究論文に取り組むタイミングで学べたのは、良かった。
- スポーツに関する新しい視点が持てたこと。
- 看護系の論文を書く際は役に立ちそうです。
- スポーツを社会学という観点から分析していくことは、大変な作業に裏付けされたすごい内容のものだと感じました。今後のスポーツを考察していくのに大事な学問だと思います。
- 近年の自然災害やパンデミックなど様々なリスクの解決について学習できた。自身の業務や生活の場においても十分活用できる内容であった。
- 様々な調査等を実施し、分析を行う上で大変役立った。分析から導き出された考察を読み解く力が備わったように思う。
- スポーツ社会学は、初めて受講した教科であったので、興味を持って勉強することができた。
- 研究方法について学ぶことができ良かった。また、統計解析ソフトのことを知らなかったので知れてよかった。
- いろんな視点から本テーマについて考えさせられることが多かった。
- 新しい知識を得ることができ興味関心が広がりました。
- 看護・保健系調査の方法論について、体系的かつ網羅的に学ぶことができよかった。特に第7章では統計解析の基礎が、わかりやすい解説や図表などで理解しやすかった。
- 質的研究に関しての経験がなかったので、概要等を学ぶことができた。
- 生活リスクの学問的な捉え方を理解することができました。今後の生活を良くしていく上での参考になりました。
- リスク・ペリル・ハザードの違いや、リスク情報に関するリスクコミュニケーションのパラドックスなどが理解できたこと。
- 履修しさまざまなリスクを認識し、対処したいと思ったことがとても有意義でした。リスクマネジメントの重要性を認識いたしました。
- 調査研究法が分かりやすく説明されており、今後の仕事や学びに役立つ内容であったこと。楽しく学習できました。

## 【大学院】「生活健康科学」 抜粋

### 改善点

- 印刷教材と講師が話していることが異なる場合があり、どこを話しているのかわからない単位があった。
- 図表が少なく、もう少し多くてもよいと思った。
- パワポ資料的なものでよいので、要点や図表と一緒に講義を聞ければもっと理解が深まると思う。
- 索引をもう少し充実させてほしい。
- 印刷教材を読んでいるだけの講義ではなく、教材の理解を深める講義であってほしい。
- 講師が一方的に話すのではなく、ゲストを呼んだり対話形式で話をしたりしてはどうか。
- ラジオではなくテレビでやって欲しいと思いました。
- 科学研究を志向している割には、不遜な主観表現が見られた。控えていただきたい。
- テレビ講義で統計ソフトの使い方を説明していただきたい。練習問題をつけて試行する機会を設けてほしい。
- 具体的事例を用いた説明があるとより理解しやすいと感じた。
- どのようにデータベースやソフトを使うかまで体験できたらよかった。
- 以前の科目との関連がよくわからなかった。新しい情報が盛り込まれていたのか不明。
- 大学院なので、通信指導や試験は 4 択問題ではなくレポート形式にするなど、もっと考えさせる内容を増やしては。
- 模擬的に研究例を使った活動体験などができればうれしい。
- 試験内容そのものが理解しきれていなかった。テキストを読んだだけで分かった気になっていた自分を痛感した。
- 通信指導で不適切なものを 3 個選択するという設問があるが、意図が分かりにくい。運営に未熟さを感じる。
- 先生によってはテキストと大きく異なる進め方をされており、少し戸惑った。
- テレビ科目として、図表やイラスト、ポンチ絵などを活用した行間を解説する授業にしてほしい。
- オンライン授業と同じような機能（字幕など）があるとよい。
- ゲストに登場いただいて笑いの中で内容を深めることや、いろいろな人の体験談が聞けると充実度が増す。
- 音声だけだと情報量が少ない。放送授業では問いを投げかけ、学生と一緒に考えていくスタイルにしては。
- シラバスにゲストの名前や所属を明記してほしい。映像授業を後から聞き直さないと名前がわからなかった。
- 放送内容がテキストに記載されていないものがあった。テキスト上でも説明した方が復習しやすい。
- わかりやすく講義して。
- 印刷教材をそのまま読んでいる章は時間がもったいない。章の終わりのワークを話し合える環境がほしい。
- 講師の経験をもとに唯一の正解かのように意見を押し付けていると感じた。もっと中立の立場から考えたかった。
- 試験では良い成績を取められたが、内容は大変難しく感じられた。知識がより体に染み付くような工夫を。
- ラジオ放送は特に、先生のアクセントや発音が気になります。
- 費用を負担してもよいので、画面の印刷ではなく冊子形式の印刷教材が全ての科目でほしい。

【大学院】「生活健康科学」

よかった点

(単位:人)

科目全般				放送授業				
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計	
今後に役立つ内容だった			5	5	講師の解説が分かりやすかった		1	1
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった			4	4	科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった		1	1
基礎的な知識が得られた			4	4				
知識の整理に役立った			3	3				
興味・関心が持てた			3	3				
深く学ぶ(考える)ことができた			3	3				
身近に感じられる内容だった			2	2				
勉強になった			1	1				
新しい知識が身についた			1	1				
視野が広がった			1	1				
具体的な事例、実践的な内容があった			1	1				
学習意欲・知識欲がわいた			1	1				
体系的に学べた・理解できた			1	1				
全体として満足している			1	1				
専門的な内容だった			1	1				

【大学院】「生活健康科学」

改善点

(単位:人)

科目全般				放送授業				
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計	
内容・構成が良くない			4	4	手話通訳、または字幕がほしい		2	2
難しかった			3	3	テレビ科目にしてほしい		1	1
テレビ科目、ラジオ科目を増やしてほしい			3	3	印刷教材と異なる講義が聞きたい		1	1
例題・練習問題を増やしてほしい			3	3	理解しにくい		1	1
もっと詳しい説明・解説をしてほしい			2	2	講師の解説・指導が良くなかった		1	1
演習を増やしてほしい			2	2	ゲストや別の講師を招いてほしい、増やしてほしい		1	1
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい			1	1	講師によって授業のレベルが違う		1	1
講師・事務方の対応が良くなかった			1	1	放送授業の内容を印刷教材で解説してほしい		1	1
努力不足だった			1	1				
資料・データ・映像・内容が古い、改訂してほしい			1	1				
面接授業・実習を実施してほしい、参加しやすくしてほしい			1	1				

通信指導				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
指導内容・コメント・対応に不満がある			1	1

印刷教材				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
印刷教材の内容が異なる・運動していない			2	2
図・表・写真・イラストを増やしてほしい			1	1
内容・構成が良くない			1	1
索引を充実させてほしい			1	1
放送授業中の資料・データを載せてほしい			1	1
印刷教材がほしい			1	1

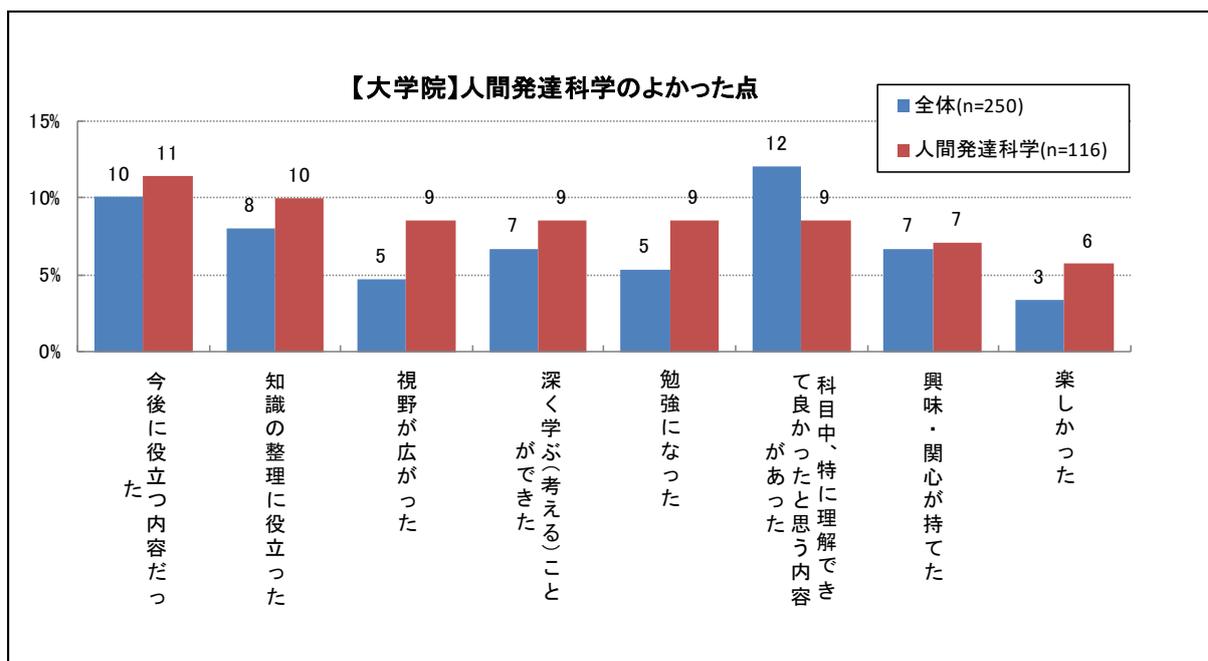
単位認定試験				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
試験が授業・印刷教材・通信指導の内容と異なった			1	1

## 【大学院】「人間発達科学」の傾向

### よかった点

「今後に役立つ内容だった」が11%で最多。以下、「知識の整理に役立った」、「理解しやすかった」が10%、「視野が広がった」「深く学ぶ(考える)ことができた」「勉強になった」「科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった」が9%で続いていた。

図4-3 【大学院】よかった点

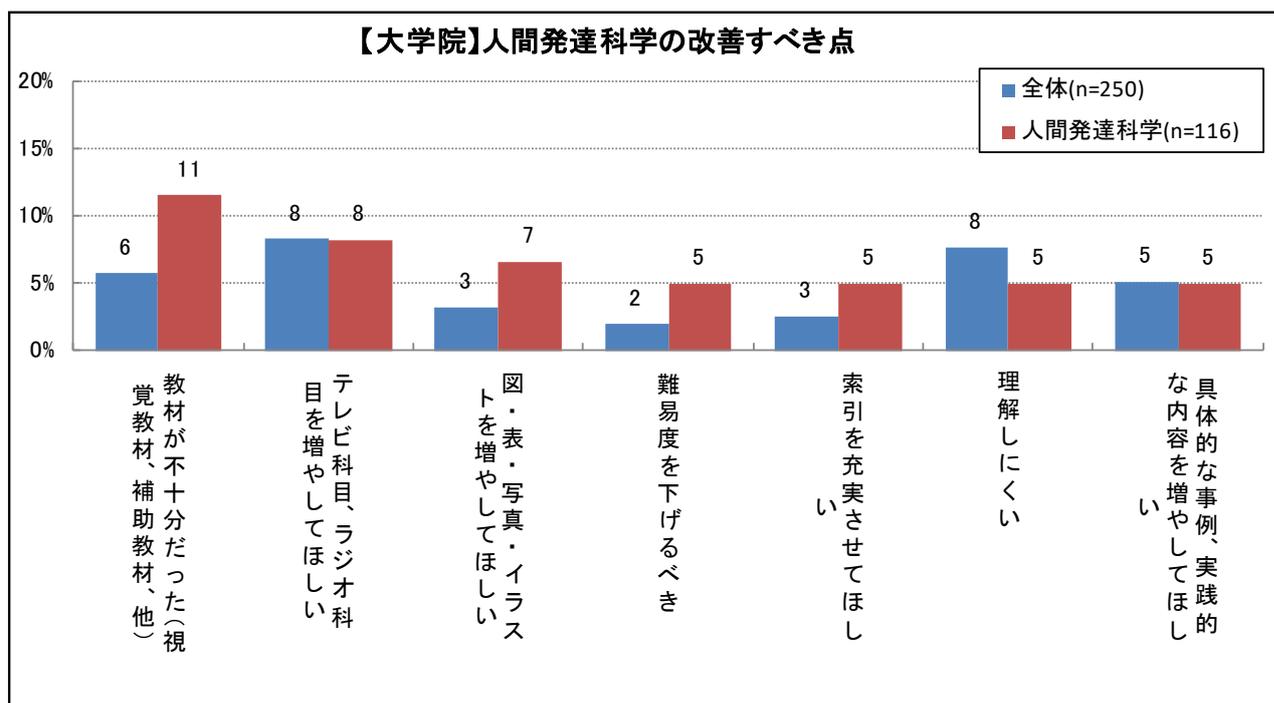


## 【大学院】「人間発達科学」の傾向

### 改善点

「教材が不十分だった（視覚教材、補助教材、他）」が11%で最多。以下、「テレビ科目、ラジオ科目を増やしてほしい」が8%、「図・表・写真・イラストを増やしてほしい」が7%で続いていた。

図4-4 【大学院】改善すべき点



## 【大学院】「人間発達科学」 抜粋

### よかった点

- 印刷教材で基礎を、対談で応用を学ぶことができ楽しかった。内容が網羅・整理されており、今後研究を行う上でも重要な書籍となった。
- 他大学でも社会心理学を学んでいたが、今回の教材は大変整理されており、論点やテーマがスッキリと頭に入ってきた。
- 実験などの事例を通した説明や社会心理学の立ち位置など、わかりやすく工夫された教材でした。
- 私の考えの視野が広がりました。
- 成人の学習・発達に関する理論的枠組みを体系立てて学ぶことができた。ゲスト講師のトピックも自発的な学習意欲を促してくれた。
- 今関わっている仕事に役立つ内容だったので、最後まで楽しく学べました。
- 学部段階で十分に理解できなかった内容について、今回さらに理解を深めることができた。
- 自分が直面する問題の構造を多面的に考察することができた。
- 個別の対象ではなく、社会とのつながりと心理学について考えたかったので、自分の興味関心と合致していて勉強になった。
- 講義の内容に最新の知見が盛り込まれている。
- 想像以上に複雑な内容であったが、学ぶことが多く、大学図書館での勤務や地域貢献イベントでのあり方に生かしていきたい。
- ヒトの進化の過程で、血縁以外の利他行動や返報性にどのような変化があるのかなど、今後も検討したい課題が見つかった。
- 社会心理学と実生活のつながりが感じられて面白かった。知見がたくさん紹介されていてよかった。
- グローバルな視点を得られた。マジョリティの教育文化に慣れさせるのではなく、理解し合う姿勢をもつことができ、受講してよかった。
- 社会心理学に対する興味が深まり、紹介されていた関連書籍を購入して主体的に学ぶことができた。
- 進化心理学、文化心理学などの新しい知見があり、非常に興味深かった。
- 海外の状況について、新しい知識を得ることができた。
- 地球規模の視点を持って教育と社会、人の関わりについて考える機会を得た。今後につなげる問題意識を刺激された。
- 特養の介護福祉士として働いているので、高齢者の心理的なことを学べるこの講義は仕事に役立つ勉強。
- 成人の学習に興味を持ち、さらに学習をしたいと考えるようになった。
- 社会心理学の世の中の的な位置づけを最初に説明され意識付けられたので、広い視野で最後まで受講できた。
- 自国の特徴を他国と比較する視点は普段考えないものであり、国際理解教育の視点について深く考えさせられた。
- 成人学習について様々な観点から学ぶことができた。放送大学の全職員にすすめたいほど良い授業。
- 印刷教材と放送の両方が素晴らしかった。放送のみ、または教材のみで扱われている内容が面白く、モチベーションが向上した。
- 複数の先生が担当されていることで、幅広い視野を持ちながらグローバル時代の教育について考えることができた。
- 研究論文に取り組んでいるので、方向性や視点の気づきが多く役に立った。参考文献も興味深かった。
- 偏見が生まれる心理など、自分や家族との関係にも反映されている自分と関わりの深い学問だと思え、興味が持続した。

改善点

- 図表や画像を示しながら解説をしてほしい。印刷教材の朗読にならないように、理解をより深めるような内容にしてほしい。
- 多くの研究者名が出てくるが、索引にほとんど掲載されていない。掲載されるとより印刷教材を利用しやすくなる。
- 教科書の書き方が難解で、なんとなくの理解になってしまった。辞書やネット検索で調べる機会が多くあった。
- 主任講師の方の文章を理解するのに少し時間が掛かった。
- 先生の話が印刷教材とあっていなかったり、通信指導やテストで全く違う内容が出た気がして難しかった。
- ラジオ番組でゲストを招いての会話は大変よかったが、画像にしてほしい（テレビ科目化）。
- もう少し、具体的な例が示されると良かったかもしれない。
- 音声以外にも図表を映すなど、視覚に訴えることで理解がより深まると思う。
- ロケが多いと面白いと感じました。
- 聞き慣れない人名等について、音声のみでなく解説ページがあると良かった。自分で調べる時間が惜しかった。
- 1章の内容が多すぎると感じた。内容をコンパクトにした方が取り組みやすい。
- ゲストの氏名や肩書を一覧にした資料をいただくと、今後の学びの機会創出になる。
- 世界事情をより多く取り入れて、その中の日本の立ち位置などをもっと盛り込んで欲しい。
- 単位認定試験が記述式に変わったことで期限を間違えた。もっと強力なリマインドがあれば失念しなかった。
- 興味深い内容だが、学ぶ分量が多く、単位認定試験の内容も難解と感じた。
- 心理学テストの変遷について、どの試験がどの派生なのか体系立てた図があるとわかりやすい。
- 試験前に過去問に取り組んだが、解答がずれているように感じた。
- テストは間違いやすい問いが多く、細部まで記憶していないと難解。学生を落とすためのものではない問題を希望。
- 通信指導のフォントを、個々の読みやすい字体で選べるようにしてほしい。
- 講師により内容の分かりやすさに差がある。教材を音読するだけの先生や、専門用語を連発する先生もいた。
- 放送授業中の解説が、印刷教材のどのページに対応しているのか明示していただくとわかりやすかった。
- シラバスにゲストの名前や所属を明記してほしい。映像を最初から聞き直さないと詳細がわからなかった。
- 放送授業はテキストの補完として、参考例やゲストとの対話などをもっと増やした方がおもしろいのではないか。
- 帰国子女の方の話や、学校の様子などがわかる映像資料があると、より理解しやすかった。
- 耳から情報が入る授業はやや苦手なので、放送授業で字幕が出るとよりありがたい。
- プロのアナウンサーが聞き手になって、会話形式での講義が多いとわかりやすい。
- 講師が自身の経験を唯一の正解かのように意見を押し付けていると感じた。もっと中立の立場からの講義を望む。
- ラジオ放送は特に、先生のアクセントや発音が気になります。
- 現状はラジオ放送なので映像付き（テレビ放送）にすることが先決。研究の示唆をいただいたのはありがたい。
- 放送内容を聞いているとテキストのどこを話しているかわからなくなる。「今ここ」を教えてほしい。

【大学院】「人間発達科学」

よかった点

(単位:人)

科目全般				放送授業				
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計	
今後に役立つ内容だった			8	8	複数の講師の講義を聞くことができた		2	2
知識の整理に役立った			7	7	楽しかった		1	1
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった			6	6	良い授業だった		1	1
勉強になった			6	6	興味・関心が持てた		1	1
深く学ぶ(考える)ことができた			6	6	引用・参考文献・補助教材・問題集の紹介が良かった		1	1
視野が広がった			6	6				
興味・関心が持てた			4	4				
楽しかった			3	3				
最新の情報・研究が学べた			3	3				
新しい知識が身についた			2	2				
学習意欲・知識欲がわいた			2	2				
内容・構成が良かった			2	2				
理解しやすかった			1	1				
体系的に学べた・理解できた			1	1				
専門的な内容だった			1	1				
科目の学問的性質、位置付けが分かった			1	1				

印刷教材				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
理解しやすかった			1	1
手元に置き、今後も読みたい内容だった			1	1
様々な事例、具体的な事例が学習に役立った			1	1
講師の解説が分かりやすかった			1	1

【大学院】「人間発達科学」

改善点

(単位:人)

科目全般				放送授業				
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計	
教材が不十分だった(視覚教材、補助教材、他)			7	7	テレビ科目にしてほしい		2	2
テレビ科目、ラジオ科目を増やしてほしい			5	5	図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい		2	2
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい			3	3	講師の解説・指導が良くなかった		2	2
もっと詳しい説明・解説をしてほしい			1	1	現場取材や、第一線の方へのインタビューが多いとよい		2	2
内容の詰め込みすぎ			1	1	解説中の印刷教材のページが分かりにくい		2	2
最新の内容を講義してほしい			1	1	印刷教材と異なる講義が聞きたい		1	1
努力不足だった			1	1	手話通訳、または字幕がほしい		1	1
講師の詳しいプロフィールや研究内容、仕事内容等を知りたい			1	1	講師・ナレーター・ゲスト等の話し方が良くない、声が聞き取りづらい		1	1
					ゲストや別の講師を招いてほしい、増やしてほしい		1	1
					聞き手がいた方がよい		1	1

印刷教材				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
図・表・写真・イラストを増やしてほしい			4	4
理解しにくい			3	3
索引を充実させてほしい			3	3
印刷教材の内容が異なる・連動していない			1	1
放送授業中の資料・データ、ゲストの話を載せてほしい			1	1
追加情報・追加教材がほしい			1	1
内容が薄い・少なすぎる			1	1
講師により内容にバラつきがある・解説が異なる			1	1

通信指導				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
文字が読みづらい			2	2

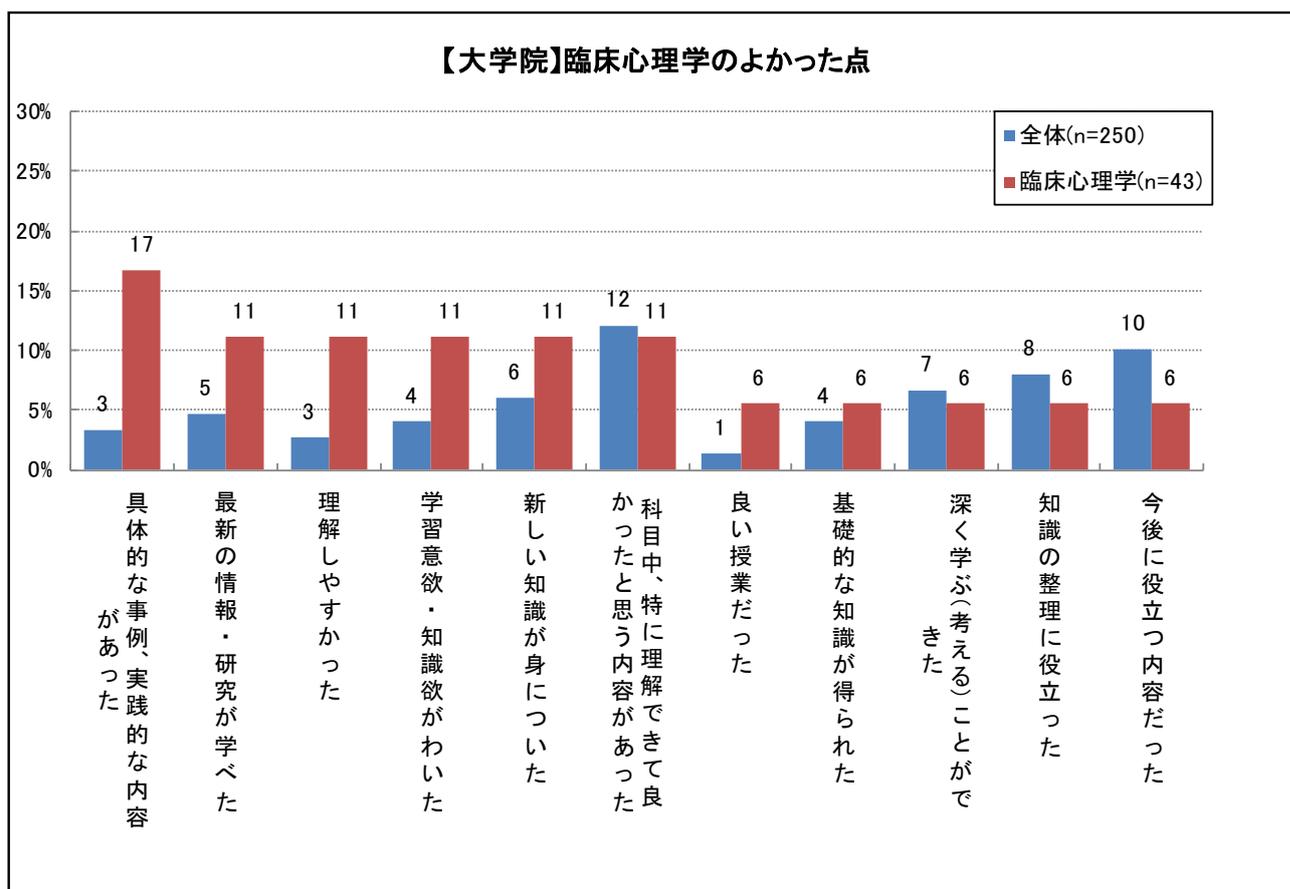
単位認定試験				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
難易度を下げるべき			3	3
受験の要領がわかりにくい			2	2
記述式、および記述に関して改善してほしい			1	1
試験の設問内容が理解しにくい・出題の仕方に違和感がある			1	1
誤植があった、数字の誤りがあった			1	1

## 【大学院】「臨床心理学」の傾向

### よかった点

「具体的な事例、実践的な内容があった」が17%で最多。以下、「最新の情報・研究が学べた」「理解しやすかった」「学習意欲・知識欲がわいた」「新しい知識が身についた」「科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった」が11%で続いていた。

図4-5 【大学院】よかった点

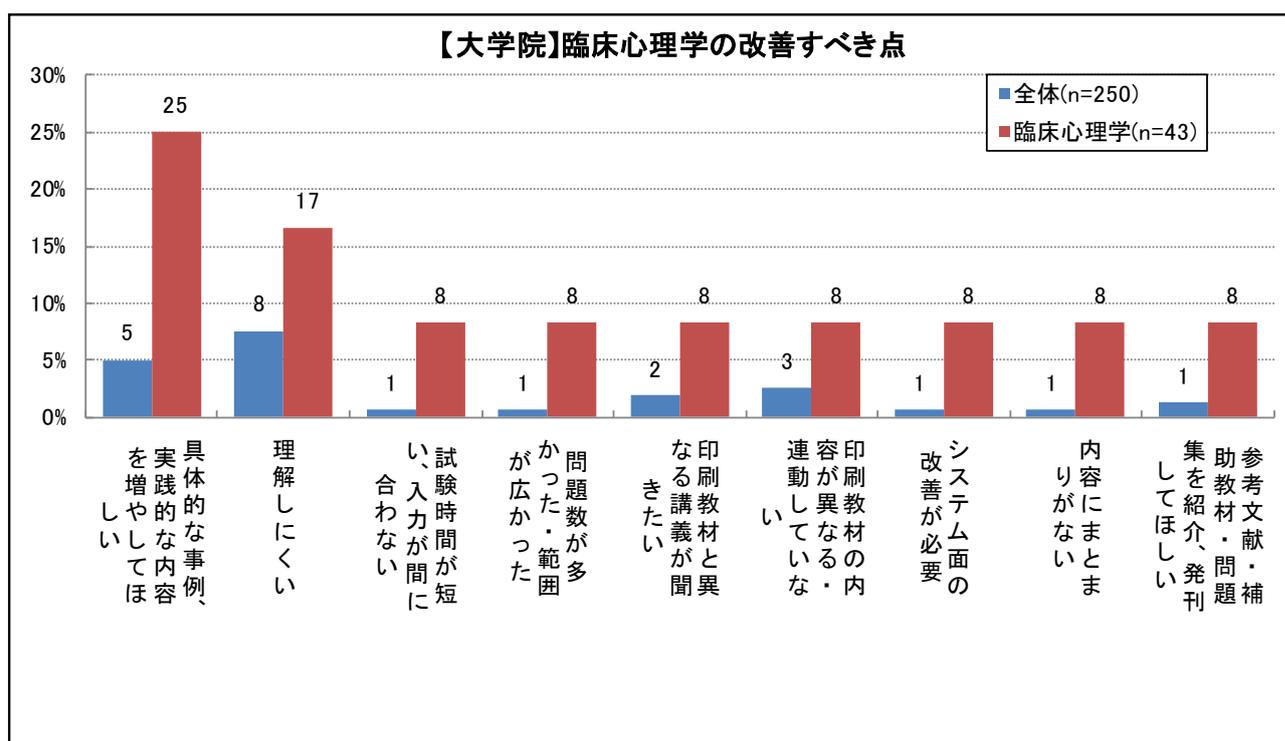


## 【大学院】「臨床心理学」の傾向

### 改善点

「具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい」が25%と突出して高かった。以下、「理解しにくい」が17%、「試験時間が短い、入力が間に合わない」「問題数が多かった・範囲が広がった」「印刷教材と異なる講義が聞きたい」「印刷教材の内容が異なる・連動していない」「システム面の改善が必要」「内容にまとまりがない」「参考文献・補助教材・問題集を紹介、発刊してほしい」が8%で続いていた。

図4-6 【大学院】改善すべき点



## 【大学院】「臨床心理学」 抜粋

### よかった点

- 事例が多く提供されていて、わかりやすかった。
- これまであまり取り上げられていない具体的な臨床心理の現場について解説があってわかりやすかった点。
- 新しい知識が得られた
- 形を変えると、仕事に活かせる部分がある。自分の研究分野に参考になるでしょう。
- 心理面接を、現場ごとに分けてあるため、理解しやすかった。特に、自分の職場で母親支援をするときに考える視点が見つかった点が、受講してよかったと思う
- 臨床心理士としての専門的知識・技能が身についたと思う。わかりやすく解説をされていることが良かった。
- 臨床心理士としての専門知識や技能がよく理解できた。実際の場面での活用や、ゲストの話がとても具体的なのでよい指標となっている。参考文献も豊富に紹介されているのでありがたい。
- 心理面接についての心構えや実際の支援について学ぶことができました。一方で、学んだことでまだまだ自分自身の勉強不足を感じました。今後も学ぶ意欲に繋がりました。
- 臨床心理学の理論について広範囲に学べた点
- 様々な分野での臨床心理の実践がわかった点
- 現在カウンセリングを学習しているのであるが、面接の実践に役に立った。知識を振り返って考えるのに役立った。
- 時点更新が行われていること
- 臨床心理士を目指すものとしての構えについて染み入るように学べた。
- 臨床を進める中で貴重な視点が学べた。新たな技法理論についても分かりやすく解説されていた
- 心理面接の心構えに触れることができた
- 臨床心理学について、知識が深まった気がする。 参考図書などをもっと読みたいと思い、楽しみが増えた。
- 素晴らしい授業です

改善点

- 印刷教材の一文が長く、理解に繰り返し読み直す必要があった。ラジオなので仕方がないが、図と文を対応させるのが難しく感じることもあった。
- 自分の基礎力不足もあり、まずは印刷教材の内容理解をするのに精一杯でラジオ教材の対談を聞く余裕がなかった。ただし、短期間で多くのものを学べるという点では有効な試みだと思う。後期も登録しているので単位修得に関係なくラジオ教材を視聴し理解を深めたいと思う。
- （難しいとは思いますが）守秘が重要な点となるが、相談の現場などについての映像があるとよりわかりやすいと思う。
- 参考文献を探すことが大変であることや、参考文献が難しくて借りてきても読みすすめないことがある。論文を手に入れるのが難しい。
- 臨床心理学特論と臨床心理面接特論で、内容が重複しているところについては、「またか」と思ってしまった。
- （難しいとは思いますが）守秘が重要な点となるが、相談の現場などについての映像があるとよりわかりやすいと思う。
- 事例研究を取り入れて欲しいです。
- 単位認定試験の問題が15問だったので、最後まで終わりませんでした。時間が足りませんでした。
- 放送教材と印刷教材の内容がほとんど一致していない回があった。もう少し、印刷教材と放送教材の内容は一致させてほしい。
- 12回以降の放送が中断したりして完全に聴講できなかったのが残念だった
- 印刷教材をそのまま読んである章は少し時間がもったいないと感じた。印刷教材を読んだことを前提として授業を行うとより多くの知識を身に着けることができる。章の終わりのワークは、一人だとなかなかやりにくいことが多くて、手がかからないことがある。話あいなどができる環境があるとよいと思う。もしくは、先生と一緒に考えるというような内容がよい。（ズームなどの利用）

【大学院】「臨床心理学」

よかった点

(単位:人)

科目全般				放送授業				
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計	
具体的な事例、実践的な内容があった			3	3	良い授業だった		1	1
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった			2	2				
新しい知識が身についた			2	2				
学習意欲・知識欲がわいた			2	2				
理解しやすかった			2	2				
最新の情報・研究が学べた			2	2				
今後に役立つ内容だった			1	1				
知識の整理に役立った			1	1				
深く学ぶ(考える)ことができた			1	1				
基礎的な知識が得られた			1	1				

【大学院】「臨床心理学」

改善点

(単位:人)

科目全般				放送授業				
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計	
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい			3	3	印刷教材の内容が異なる・連動していない		1	1
参考文献・補助教材・問題集を紹介、発刊してほしい			1	1	印刷教材と異なる講義が聞きたい		1	1
内容にまとまりがない			1	1	システム面の改善が必要		1	1

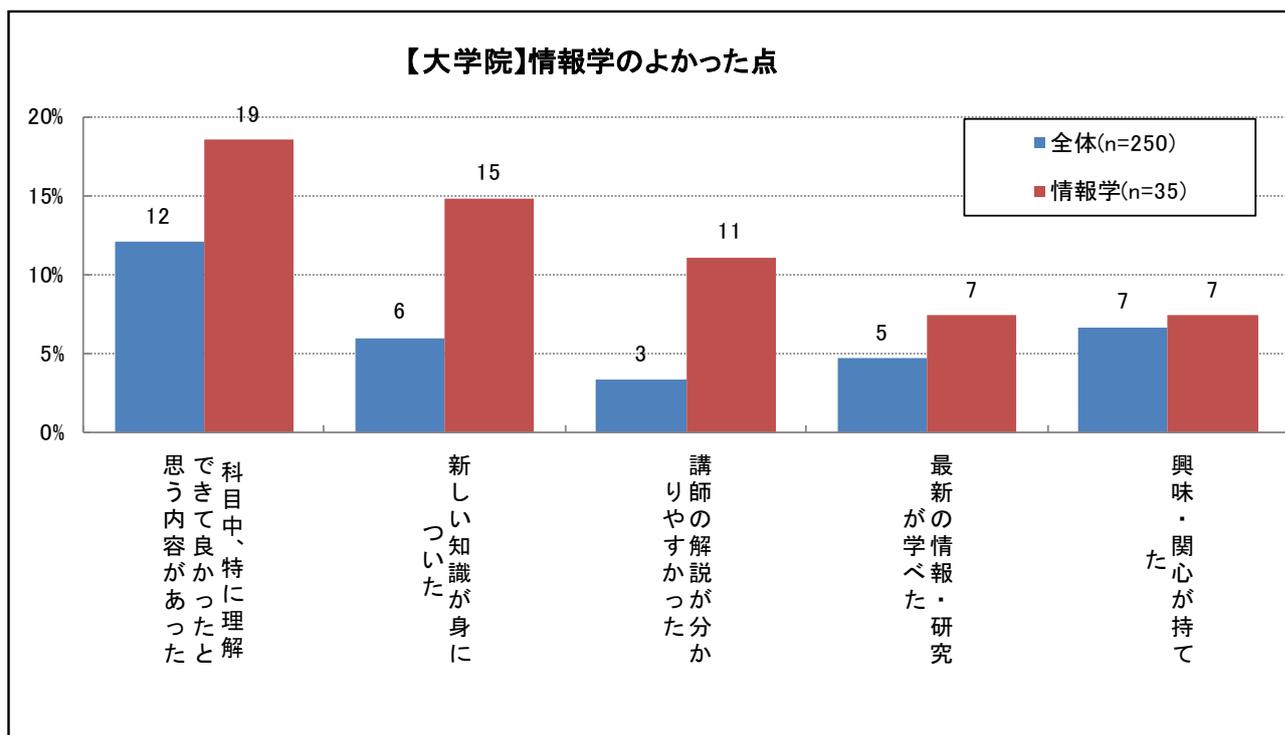
印刷教材				単位認定試験				
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計	
理解しにくい			2	2	問題数が多かった・範囲が広がった		1	1
					試験時間が短い、入力が間に合わない		1	1

## 【大学院】「情報学」の傾向

### よかった点

「科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった」が19%で最多。以下、「新しい知識が身についた」が15%、「講師の解説が分かりやすかった」が11%、「最新の情報・研究が学べた」「興味・関心が持てた」が7%で続いていた。

図4-7 【大学院】よかった点

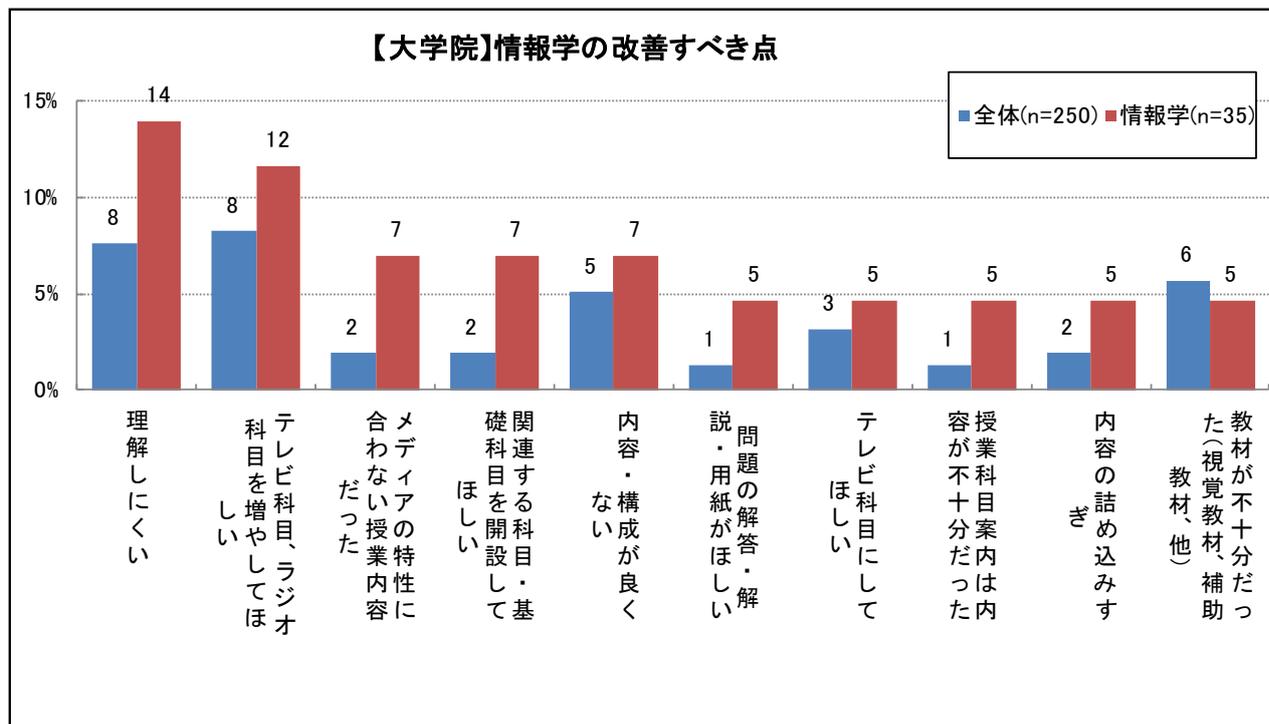


## 【大学院】「情報学」の傾向

### 改善点

「理解しにくい」が14%で最多。以下、「テレビ科目、ラジオ科目を増やしてほしい」が12%、「メディアの特性に合わない授業内容だった」「関連する科目・基礎科目を開設してほしい」「内容・構成が良くない」が7%で続いていた。

図4-8 【大学院】改善すべき点



## 【大学院】「情報学」 抜粋

### よかった点

- 当該分野に関する導入知識が得られた点
- 最新の自然計算分野について、興味深く学習できた。特に 13 章、光コンピューティングや 14 章、量子コンピューティングは学習していて楽しかった。
- 普段使わない、コンピュータ上の計算システムについて理解が深まった。
- 計算と熱力学の関係や、必ずしもノイマン型の電子計算機に限らない、様々な自然計算について教えて頂き、感謝致します。北海道の大学の女性教授の方が、ゼリー状の棒を内部から観測する事によって、蠕動運動のような効果を生じ、それを動力に利用する事を研究しています、というインタビューには感銘を受けました。有難うございました。
- ソフトウェア工学と情報社会の関連に触れることができたこと。現在におけるソフトウェアの技術革新を知見として触れることができたこと。
- 計算と自然が、どのようにコラボするのが不思議でした。受講してみて、ノイマンがチューリング機械が展開した計算理論を「計算オートマトンのチューリング理論」等で展開していることを知見として理解することができたこと。
- いずれは修士全科生として自然計算を専攻しようと考え、一昨年から選科生として少しずつ単位をとって準備していたところ、今学期からこの科目が開設されたので早速受講しました。かなり広範なトピックをコンパクトな講座の中でまとめていてとても良い内容だったと思います。全科生の出願はまだ来年を考えているので、修士研究の構想や希望する指導教員の想定のためにも、この講座があって大変参考になりました。
- 新しい知識を習得できた。現在の流れを理解できた。
- 最先端の研究紹介も含まれていたこと。自然計算について、多岐にわたる紹介がされていたこと。
- 自然計算の考え方が、非常広い分野が関係するものであったので、さまざまな分野についての、気づきを得ることができ、興味が広がりました。
- 新たな知識を多く周到できました。
- ソフトウェア開発において体系的に理解するのに最適な講義でした。システム開発プロジェクトの会議などにおいて、問題点が気付き機会が増え、実務を通じてプロジェクトの成功や失敗が予測できるようになった。
- ソフトウェア工学のみならず、プロジェクト管理に関わることなど、ソフトウェア開発に関わるトータルな概念が学べたと思います。
- さまざまな並列計算について学ぶことができた。
- 科目で取り上げられているセルオートマトン、複雑系に惹かれて受講したが、より幅広く計算に関する状況が取り上げられており、楽しく受講できた。
- 私にとって新しい分野に対して新しい知見を広げることができました。
- 約 50 年前、大学の理学系でコンピュータの講座ができ学びました、現役時代もソフト品質管理に関する業務についていましたが、久しぶりに学問的視点での勉強をして、その変容、進化にびっくりしました。現役時代もう少し学問的視点でみておけばよかったと思いました。
- 統合情報理論について学べたこと、触れられていたこと。
- 未知のテーマだったが、大変興味深く、また、私自身の専攻しようとしている分野とつながりがあり、改めて勉強・研究するテーマを再考するきっかけをいただけました。内容が興味深かったので、一学期の片手間の学習ではどうも知識が熟した感じがせず、副読本や参考書の勉強も含めて来期もう一度受講したいと思い、単位認定試験は放棄した。
- ソフトウェア開発の作法や裏側を知ることが出来た。先生の話し方は放送授業としての工夫が見られ、理解しやすいように設計して頂いていると感じた。プログラミングにおいては、とにかく手を動かして動くものを作れば良い、という風潮があるように思えますが、分野へのハードルを下げる必要性も理解できる一方で、いずれは設計とはどのようなものか、下から上なのか、上から下なのか、堅牢なコードとは何か、を考えることになると思います。AI コーディングが進む中、先人の知恵を知った上での開発を心がけたい。

改善点

- 印刷教材が難しい内容の説明で、参考文献をよく読む必要があった。もう少し解りやすい教材に変えてほしい。
- 量子コンピューティングなど進歩が激しく、教材がすぐに陳腐化しそうだと感じた。適時更新を。
- 多くの研究者名が出てくるが索引にほとんど掲載されていない。掲載されると復習に役立つ。
- コラムの執筆者や重要項目の索引があると自習・復習の参考にしやすい。
- 教科書は講義を忠実に再現しているが、もう少し厚み（詳細な解説）のある内容でも良かった。
- 主任講師の方の文章を理解するのに少し時間が掛かった。より平易な表現を希望する。
- 先生の話が印刷教材とあっていなかったり、通信指導で全く違う内容が出た気がして難しかった。
- ラジオでも理解可能だが、やはり映像を交えた方が理解が深まる。
- 視覚的なサポートはたくさんあった方が助かる。図についても動的なイメージがある方が良い。
- 図だけ見てもわからないことが多かった。具体例を複数示し、ステップを踏んで解説してほしい。
- 映像や本を参考に、より具体的な現場感覚をもって学べる工夫があると、頭に入りやすかった。
- 「自然計算」という概念自体が難しいため、まずそれをしっかり理解する段階を設けてほしい。
- 新規科目で事前情報が少なく後悔したこともある。科目についての事前説明をしっかりとしてほしい。
- テレビ科目の方が、さらに理解が深まると思います。
- 技術や手法の紹介で留まらずに、次の段階への考え方や方向性を知りたかった。
- ラジオの解説がテキストに含まれていない時があり、スライド的な図が挿入されていればと思った。
- インターネット配信の動画に、字幕またはトランスクリプトの表示機能が欲しい。
- 重い内容を45分で語るのは難しい回がある。基礎だけに絞るか、もっと時間を割くかが必要。
- 章末の研究課題がテキストのレベルとギャップがある。英語論文や書籍も多く紹介してほしい。
- 受講に必要な基礎知識レベル（前提条件）をあらかじめシラバス等で明示してほしい。
- 自分の基礎学力不足もあるが、1つの科目として範囲が膨大すぎる気がした。
- 受講者間でのコミュニケーション（質問や議論）が図れる場を用意してほしい。
- テストは多肢選択式だけでなく、記述式も検討して良かったのではないかと思う。
- どの答案が間違っていたか不明で検証できない。試験の透明性を欠いており学習意欲が削がれた。
- 受験者には解答を公開してもいいのでは。自分の解答でどれが誤りだったか把握したい。
- 通信指導のコメントが素っ気なかった。また、質問箱が活用できなかった。
- 通信指導のフォントを、個々の読みやすい字体で選べるようにしてほしい。
- ゲストの話は面白いが、講義の本筋との関係性をもっと明確だと深掘りしやすかった。
- テストに出る範囲のポイントがつかめなかった。ポイントを絞った内容の授業にしてほしい。
- 全体的に難しすぎて聞き流してしまうことが多かった。もっと優しい内容に変えてほしかった。
- 担当講師により難解な数式が登場するが放送では触れない等、章同士の動線が確保されていない。
- ラジオ授業という形態に無理がある。ゲストの話がテキストの順とリンクせず一貫性がない。
- 段階的に進められる等、理解しやすくなるように構成をさらに工夫してほしい。
- 内容の性質上、テレビの授業にすべき。
- 音声主体の授業だが、映像やオンライン実習があればより理解を深められたのではないか。
- 複雑な内容はオンラインか映像授業での解説が望ましい。
- 耳から情報が入る授業は苦手。文字情報のほうが頭に入るので字幕が出るとありがたい。
- 講師が自身の経験を唯一の正解かのように意見を押し付けていると感じ、非常に残念だった。
- ラジオ放送は特に、先生のアクセントや発音が気になります。
- ラジオなので視覚的な副教材を充実させ、お勧めの書籍などを強調して教えてほしかった。

【大学院】「情報学」

よかった点

(単位:人)

科目全般				放送授業				
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計	
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった			5	5	講師の解説が分かりやすかった		3	3
新しい知識が身についた			4	4	印刷教材と連動していて良かった		1	1
最新の情報・研究が学べた			2	2	興味・関心が持てた		1	1
今後に役立つ内容だった			1	1				
勉強になった			1	1				
知識の整理に役立った			1	1				
興味・関心が持てた			1	1				
基礎的な知識が得られた			1	1				
楽しかった			1	1				
具体的な事例、実践的な内容があった			1	1				
内容・構成が良かった			1	1				

【大学院】「情報学」

改善点

(単位:人)

科目全般				放送授業				
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計	
テレビ科目、ラジオ科目を増やしてほしい			5	5	理解しにくい		3	3
関連する科目・基礎科目を開設してほしい			3	3	メディアの特性に合わない授業内容だった		3	3
教材が不十分だった(視覚教材、補助教材、他)			2	2	テレビ科目にしてほしい		2	2
内容の詰め込みすぎ			2	2	内容・構成が良くない		2	2
授業科目案内は内容が不十分だった			2	2	ポイントがつかみにくい		1	1
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい			1	1				
もっと詳しい説明・解説をしてほしい			1	1				
内容が浅い			1	1				
参考文献・補助教材・問題集を紹介、発刊してほしい			1	1				
交流の場を用意してほしい			1	1				
努力不足だった			1	1				
手話通訳、または字幕がほしい			1	1				
講師の熱意が伝わらない			1	1				

印刷教材				単位認定試験				
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計	
理解しにくい			3	3	問題の解答・解説・用紙がほしい		2	2
内容・構成が良くない			1	1	記述式、および記述に関して改善してほしい		1	1

通信指導				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
指導内容・コメント・対応に不満がある			1	1

### Ⅲ-4. 大学院（オンライン授業）

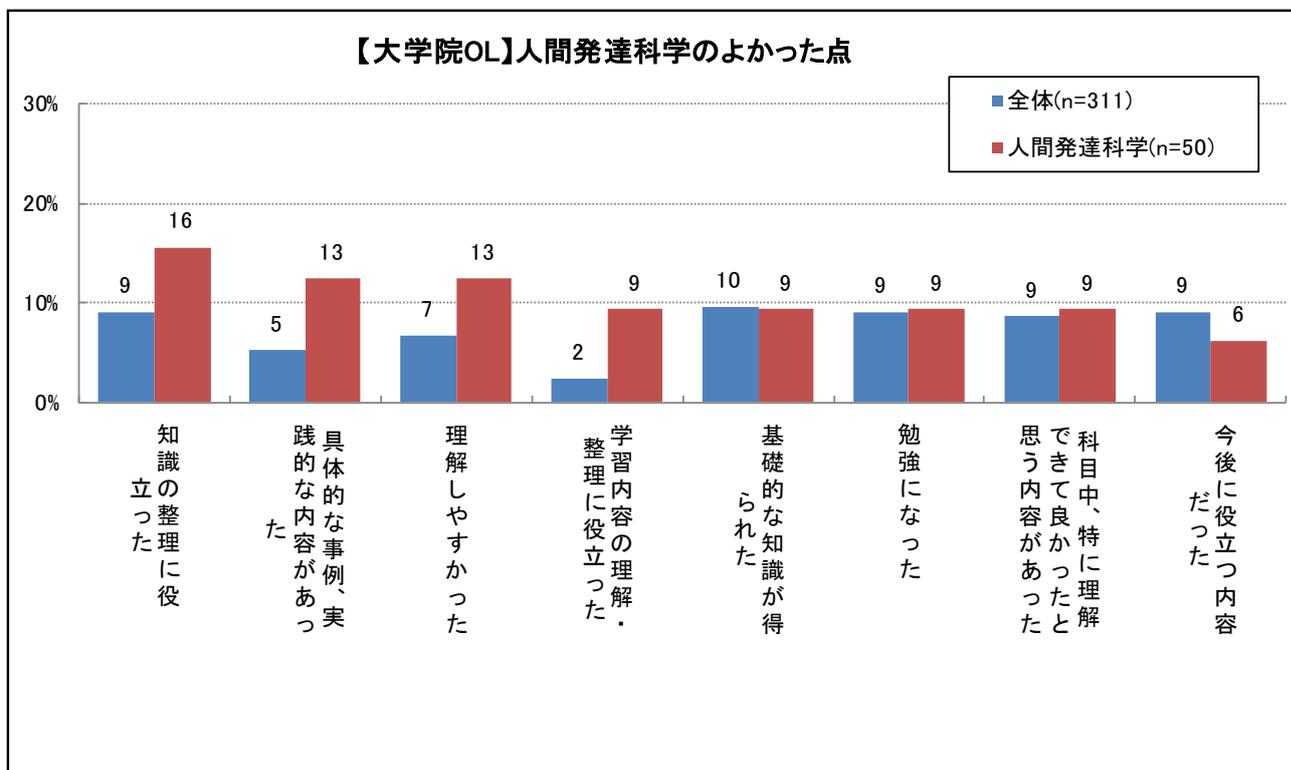
ここからは、大学院オンラインの全体との比較で、当該科目がどのような傾向にあったのかを見ていきたい。

#### 【大学院 オンライン】「人間発達科学」の傾向

##### よかった点

「知識の整理に役立った」が16%で最多。以下、「具体的な事例、実践的な内容があった」「理解しやすかった」が13%、「学習内容の理解・整理に役立った」「基礎的な知識が得られた」「勉強になった」「科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった」が9%で続いていた。

図4-9 【大学院 オンライン】よかった点

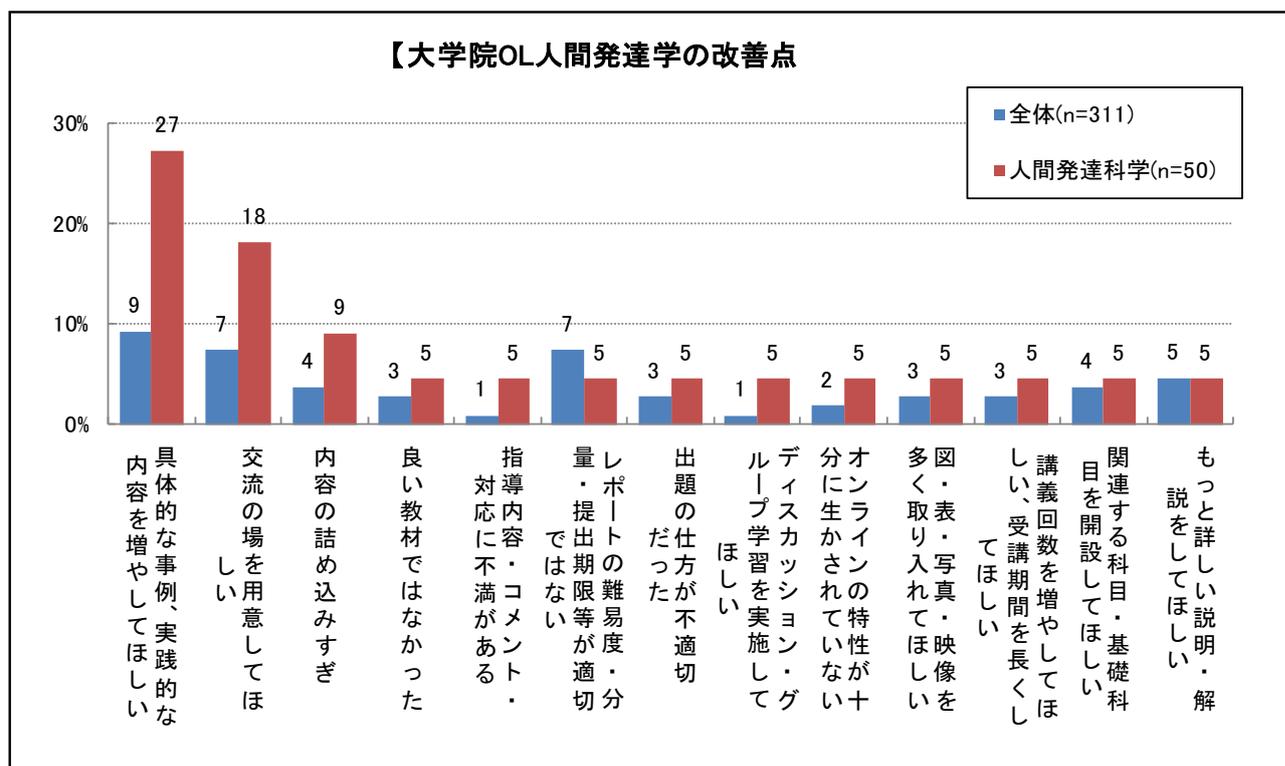


## 【大学院 オンライン】「人間発達科学」の傾向

### 改善点

「具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい」が27%で最多。  
以下「交流の場を用意してほしい」は18%、「内容の詰め込みすぎ」が9%が続いた。

図4-10 【大学院 オンライン】改善すべき点



## 【大学院 オンライン】「人間発達科学」 抜粋

### よかった点

- 丁寧でわかりやすい講義でしたので、気づきや学びを多く得られ満足しました。
- カイ二乗検定を行う上でクラメールの連関係数  $V$  の必要性が具体的に理解できた
- 社会調査において、質的・量的調査について詳しく知れることが良かった。リサーチクエスションから結論までの過程は他の科目と共通して大切な点ですが、具体的な調査の方法について深められた点が良かった。自身の研究に活かせる内容であった。
- 研究手法を学ぶことができた
- 量的調査について、教育研究に特化して学ぶことができたのでよかった。難易度が自分に合っていてわかりやすかった。
- 研究テーマと決めて調査をすることは毎年行なっていますが、自己流で不安がありました。質的研究、量的研究をしっかり解説してくれ、調査の方法もわかりやすく、自信ができました。ー
- 論文作成に必要な研究手法と調査方法が学べた。
- 論文研究に関する知識が深まったことがよかったです。
- 動機の部分と同じです。再学習し確認できるところに自分自身のステップアップになると感じている。
- アンケート調査に関する基本的な手法がわかった
- 実際に調査をするイメージが持てました
- 勉強になりました。有難うございました。
- 量的、質的研究それぞれの具体例があってわかりやすかった。
- 質的調査、量的調査について理解できた。
- 無理して難しいデータ解析に手を出さなくても、十分なことができると知った点。
- 自身が修士論文を書く上で不安のあった調査方法について、バランスよく学ぶことができたと感じています。
- 教養学部での卒業研究論文の発表後でしたので、質的調査については復習という感じで興味深く受講しました。量的調査では、「母集団」が主体でしたので、内容のある講義だと思います。ただ、繰り返しの文章用語が多かったので、何度も書き間違いをしたことです。
- 社会調査の方法を俯瞰的に学ぶことができた点
- 質的・量的研究の違いや注意点を、具体的な事例から学べたのが良かったです。また先生方の講義が的を得たものでかつよく練られていたことで、理解がしやすかつ深まったので、感謝しています。先生方が素晴らしいかったです。
- 重要なポイントを、コンパクトに学ぶことができました。
- 実際に調査を行う際の重要ポイントを、再認識することができました！
- 今後、学術論文を書く上で非常に役立つと思う。
- 質的・量的調査や仮説検証の具体的な内容を分かりやすく勉強できた
- 量的・質的分析があること、それぞれの特徴はわかりやすかった。ありがとうございました。
- 研究の事について新しい知識が得られた。
- 調査の方法について、具体例があり、自分が実際に行う際のヒントになると思った。
- 論文の書き方や調査の仕方について分かりやすかった。論文を読む上で、よくわかっていなかった検定の意味についても解説が分かりやすかつとても良かった。
- 質的調査、量的調査の一般的な概要について改めて理解することができた。また、社会調査に関する自己の知識の再確認、洗練化をすることができた。
- 研究計画書の書き方を手取り足取り教えてもらった。印刷メモを今後何度も見返すことになるだろう。
- 講義スライドがダウンロードできるところが良かった。

## 【大学院 オンライン】「人間発達科学」 抜粋

### 改善点

- ディスカッションのコンテンツが一つでもあると、より良い科目になるのではと思いました。
- 8 講義 1 単位では少ないので、15 講義 2 単位にしてほしい。そのうえで具体的な分析方法について、さらに触れてほしい。
- オンライン授業において情報量が多かった。特に量的研究の部分は全てを理解できたかという部分では自信がない。
- 調査方法の具体例を数多く示して欲しい。
- 統計解析について、解析アプリケーションの紹介があったほうがいいかもしれません。
- 双方向性
- 先行研究の探し方の具体例や先生方の工夫をもう少し知りたかった。
- 楽しい研究実例をもっと取り上げてほしかった。
- 受講者間でのディスカッションや、レポートの相互採点など、オンライン授業ならではの学習活動も取り入れていただけるとありがたいです。
- 他の学生の「行いたい調査」も知れると、より一層学びが深まりそうだと感じました！
- 双方向性があまり活かされていない。
- 修士論文を書く前に履修すべきだったと思うので、そうされていると思うが、修士論文を書く前に履修するようにうるさい位 PR してもらえると、今後の学生には役立つと思う。
- 分析方法を事例を出して説明いただくともっとよかった（口頭の説明が多かったので）。とくに質的分析法を詳しく知りたかったです。
- 講義時間が長いのと量的研究も初歩的な事しかやらなかったのもう少し深い学習をしたかった。
- もう少しよく使われる統計の種類についての解説があったら、より良かった。
- 研究者として交流も必要であるが方法があまり確立されていないように感じた。 大学時代はベースメーカーとなる友人がいたが、通信制ではなかなか難しいので、交流の糸口となる、「この点について、フォーラムで発言してみましよう」などの水を向ける助言があってほしいと感じた。
- 質的調査について、インタビュー調査が主として提示されているものの、SCAT、GTA、TEA など多様な手法が存在しているため、それらに関する紹介があればよりよかったと感じる。
- 話している内容まで印刷できたら、助かると思いました。
- 最終レポートは論文をひとつ作成するボリューム感があった。
- 最終レポートには時間もかけ取り組んだが、フィードバックが AI?のような無機質な感じがし、そのせいか評価にも納得がいかなかった。授業自体はとても良かったので少し残念な気持ちだ。
- レポート課題の内容があまり理解できず、アンケートの概要を求めているのか、仮説的に例題を作り出して進めていくのか迷った。もう少し具体的な説明をしてほしかった。

【大学院オンライン】「人間発達科学」

よかった点

(単位:人)

科目全般				設問解答			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
知識の整理に役立った			5	学習内容の理解・整理に役立った			2
具体的な事例、実践的な内容があった			4				
理解しやすかった			4				
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった			3				
勉強になった			3				
基礎的な知識が得られた			3				
今後に役立つ内容だった			2				
新しい知識が身についた			1				
深く学ぶ(考える)ことができた			1				
全体として満足している			1				
ポイントがつかみやすかった			1				

【大学院オンライン】「人間発達科学」

改善点

(単位:人)

科目全般				オンライン教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい			6	図・表・写真・映像を多く取り入れてほしい			1
交流の場を用意してほしい			4				
内容の詰め込みすぎ			2				
もっと詳しい説明・解説をしてほしい			1				
関連する科目・基礎科目を開設してほしい			1				
講義回数を増やしてほしい、受講期間を長くしてほしい			1	出題の仕方が不適切だった			1
オンラインの特性が十分に生かされていない			1	レポートの難易度・分量・提出期限等が適切ではない			1
ディスカッション・グループ学習を実施してほしい			1	指導内容・コメント・対応に不満がある			1

講義ノート・テキスト			
意見	テレビ	ラジオ	合計
良い教材ではなかった			1

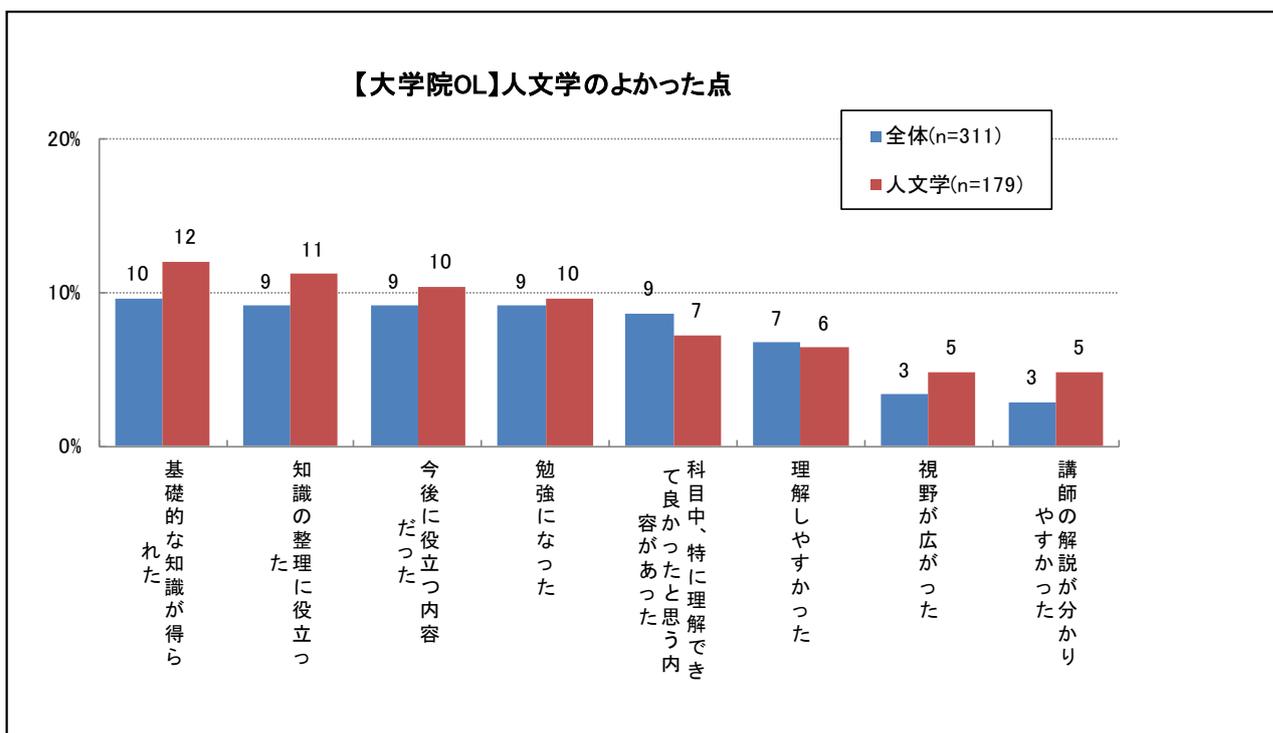
## 【大学院 オンライン】「人文学」の傾向

### よかった点

「基礎的な知識が得られた」が12%で最多。

以下、「知識の整理に役立った」が11%、「今後に役立つ内容だった」が10%で続いていた。

図4-11 【大学院 オンライン】よかった点

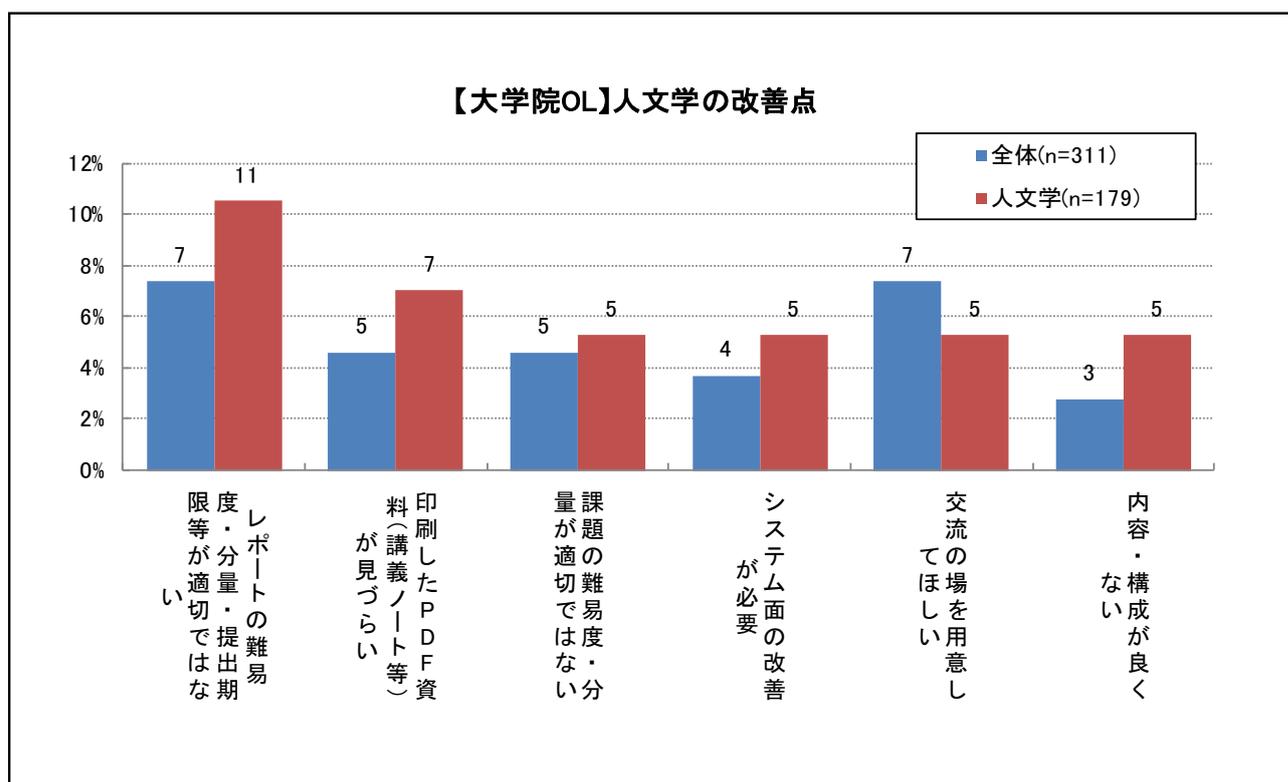


## 【大学院 オンライン】「人文学」の傾向

### 改善点

「レポートの難易度・分量・提出期限等が適切ではない」が11%で最多。  
以下、「印刷したPDF資料（講義ノート等）が見つからない」が7%で続いていた。

図4-12 【大学院 オンライン】改善すべき点



## 【大学院 オンライン】「人文学」 抜粋

### よかった点

- 音声言語の聞き取りがあまり得意でないので、映像授業のトランスクリプト（書き起こし）が非常に助かった。
- オンライン上で論文や史料を取り出すことができるいい時代。ツールを利用して効率よく進めることの重要性を知るきっかけになった。
- 先生の雰囲気柔らかく、授業自体が楽しかった。都度都度の小テストで自分の理解が確認できてよかった。
- 講師の説明はとてもわかりやすく、これまでに受講したオンライン授業の中で最も良かった。
- 論文作成にかかる全体的な概要を説明いただき、入門編として非常にわかりやすかった。
- 修士論文の作成の参考になった。
- 知らなかったことばかりで、これから研究を進めていくにあたり、まさに必須の知識であった。本当にありがたい。
- アカデミックライティングの基礎を体系的に学べた点が非常に有益でした。今後の研究活動に自信を持つことができました。
- 理科系論文に対して文科系論文の量（ページ数）が多い理由が理解できた。
- レポートを書くに際し、新しい視座を獲得できた。
- 学術論文に対する知識が身についた。論文で使用する言葉の定義などの重要な「作法」を知ることができた。
- 教養学部では未消化だった「論理」について深く学べた。
- 研究活動の基本について、あらためて整理することができた。
- 研究に取り組むにあたり、心構えができた。必要最小限の知識や作法を知ることができた。
- 情報の収集や、引用の方法など具体的なことが良く分かりました。なんとなくで思っていたことが、きちんと理解できた。
- 研究者にとって必要な点が簡潔にまとめられており、とても有意義な科目だったと思う。
- 人文学コースの先生方の専門・知見を幅広く知ることができよかった。映像付きなので、先生方の雰囲気も伝わってきて良かった。
- 放送大学の人文学研究分野の全体を知ることができた。
- 幅広い知識を得るきっかけをつかむことのできる興味深い内容だった。今後の学びに活かしていきたい。
- 歴史学では、博物館巡りが趣味の私としては、古文書の鑑賞に新たな知見が得られて楽しかった。
- 講師のあふれる熱意が伝わる授業であった。放送大学の講義で教える面白さを実感を含めて解説されたのが印象的。
- 最新の人文学の状況が網羅されていて大変勉強になった。文学批評理論についても、課題に取り組むことで理解を深めることができた。
- 講義動画の中で研究手法を教えてくださいました教授もいて、自分が研究を進めていくイメージを作ることができた。
- 人文学を構成する課題・テーマについて多角的に学ぶことができ、自らの研究分野のテーマ選定やその具体化に有益だった。
- 様々な講師が担当していた。
- 「基盤科目」のような位置づけで新しい試みの科目だったと思う。知らない先生の未知の分野についてお話を聞いたことは良かった。
- 最後2回のレポートをゼミの教授が出題する形式は、ゼミの研究も深まりよい形式だと思います。
- 修士論文の書き方のポイントや要領がよくわかった。特にレポート作成が勉強になった。

## 【大学院 オンライン】「人文学」 抜粋

### 改善点

- 全盲でスクリーンリーダーを使用していますが、オンライン科目はページを変えるごとにヘッダが表示され、移動に時間がかかり使いづらかったです。
- 画面上で課題が縦に並んでいるためスクロールしないと見渡せない。Web デザイン上の改善が求められると感じました。
- 難しい用語の漢字が思いつかないものがあった。要点や用語を字幕にしていただけるとありがたい。電子黒板なども利用してほしい。
- 担当講師によってスライドの分量に差があるのは避けるべき。また、オンラハン配信が安定せず、中断後の再開に時間がかかる。
- 講義の臨場感が伝わるように、講義室で行うことや立って講義をしてもらうとよいと感じた。
- 効率的な論文検索の方法について、もっと詳しい説明を入れてほしかったです。
- 共通編のほかに専攻別の選択部分があると、より専門的な理解が深まったのではないかと思う。
- 文献管理ソフトを用いた具体的な方法について、もう少し詳しく知りたかった。
- 2 単位必修科目にして内容を深めることで、大学院全体の研究の質向上に資すると考えます。
- 時間数を 2 倍にして内容を濃くしていただきたい。アウトライン的であまりにもざっくりしているという印象だった。
- 人文学分野の講義数が少ない。他コースと共用を増やして欲しい。
- 映像授業なので仕方ないかもしれないが、もっと交流フォーラムを使用する機会があってもよいと思った。
- 他分野を扱う分、内容に物足りなさを感じた。内容をさらに深掘りするような 2 単位講義になれば良いと思う。
- 専門外の分野の内容はとても難しく、視聴を続けるのが困難なものもあった。
- 内容が濃厚過ぎて吸収しきれなかった。交流フォーラムは敷居が高いため、事務の方がきっかけを作るなどの工夫がほしい。
- 各テーマ毎の参考文献・論文のリストがあると良い。
- 交流機能でどんな質問をしてよいか迷った。よくある質問の例などがあると助かる。
- レジメの文字を大きくしてほしい。また、レポート、小論文、論文の違いを細かく解説する内容も必要と感じた。
- 印刷教材が配布されていたら助かったと思う。オンラインであっても冊子のテキストが必要。
- 講義ノートを印刷して使用したが、書き込みができる仕様だともっと良かった。
- 資料の 1 ページ 4 コマは詰めすぎ。文字が小さくなりすぎて非常に見づらいため、工夫がほしい。
- 動画のスク립ト（書き起こし）を印刷できるようにしてほしい。
- レポートの間隔が近く、1 回目のフィードバックがないまま次に着手するため、改善点を反映できない。
- レポートが難しすぎる。何を求められているかについて最後まで悩み、他の学習が疎かになってしまった。
- 研究計画書を作る課題は、入学直後の学生にはかなり難しく、改善の余地があるように思う。
- 小テストの問題をもっと多くしてほしい。
- 小テストの解説をもう少し詳しくすると良いと思います。
- 小テストの問題がひっかけのようになっていた。もっと内容を限定して誤解のないように出題してほしい。
- 先行研究のレビュー課題において、具体的な書き方のポイント解説が欲しかった。

【大学院オンライン】「人文学」

よかった点

(単位:人)

科目全般				設問解答			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
基礎的な知識が得られた			15	演習課題が良かった、楽しかった			2
知識の整理に役立った			14	学習内容の理解・整理に役立った			1
今後に役立つ内容だった			13				
勉強になった			12				
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった			9				
理解しやすかった			8				
視野が広がった			6				
新しい知識が身についた			5				
興味・関心が持てた			5				
講師の解説が分かりやすかった			5				
深く学ぶ(考える)ことができた			4				
体系的に学べた・理解できた			4				
楽しかった			3				
学習意欲・知識欲がわいた			3				
内容・構成が良かった			3				
具体的な事例、実践的な内容があった			2				
科目の学問的性質、位置付けが分かった			1				
複数の講師の講義を聞くことができた			1				
講師の熱意・熱心さが伝わった			1				

【大学院オンライン】「人文学」

改善点

(単位:人)

科目全般				オンライン教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
内容・構成が良くない			3	システム面の改善が必要			3
交流の場を用意してほしい			3	図・表・写真・映像を多く取り入れてほしい			2
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい			2				
関連する科目・基礎科目を開設してほしい			2				
講義回数を増やしてほしい、受講期間を長くしてほしい			2				
共用科目、必須科目にしてほしい			2				
もっと詳しい説明・解説をしてほしい			1				
内容の詰め込みすぎ			1				
内容が浅い			1				
参考文献・補助教材・問題集を紹介、発刊してほしい			1				
内容にまとまりがない			1				
新しい科目、広い分野をカバーする科目がほしい			1				
授業科目案内は内容が不十分だった			1				
内容が専門的で難しかった			1				
幅広い視点でのカリキュラム編成してほしい			1				

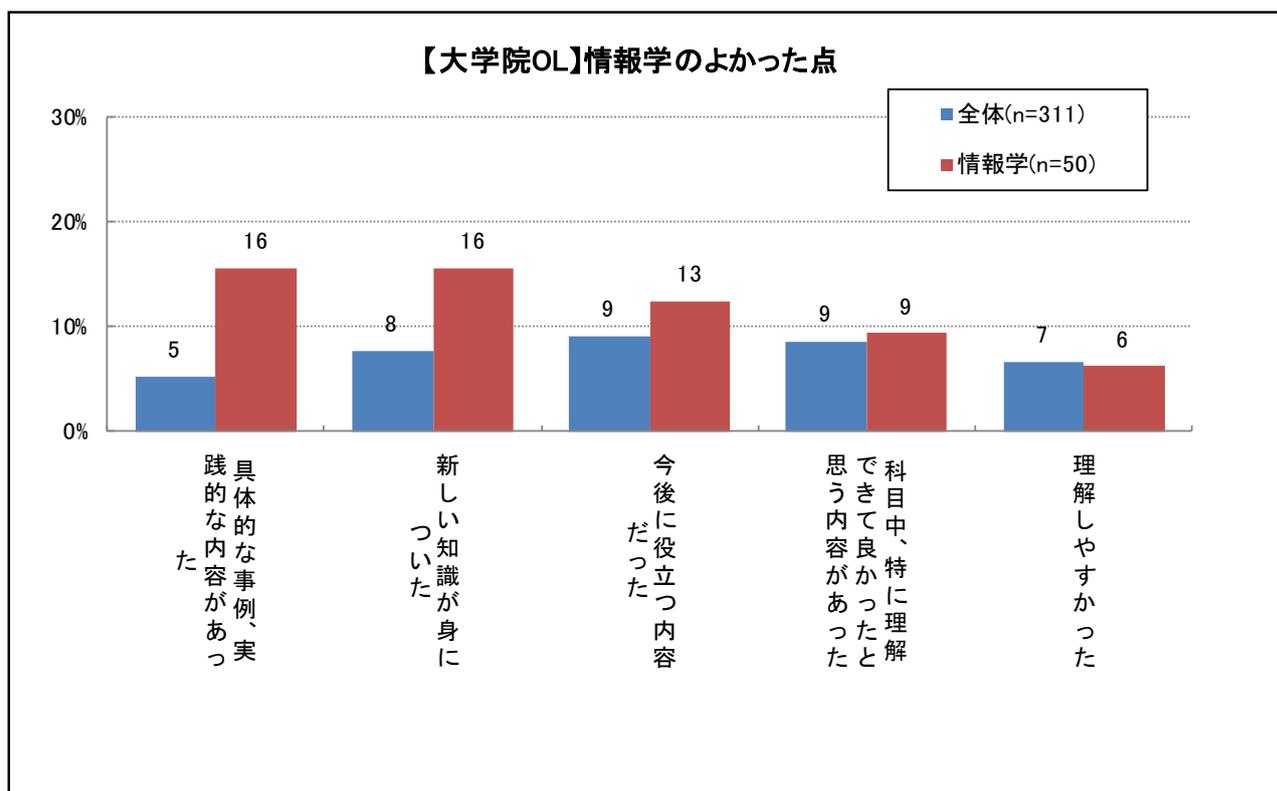
講義ノート・テキスト			
意見	テレビ	ラジオ	合計
印刷したPDF資料(講義ノート等)が見づらい			4
良い教材ではなかった			2
オンラインであっても冊子のテキストが必要			1
文字・画像が見づらい			1
講義ノート・テキストを印刷するのは大変			1

## 【大学院 オンライン】「情報学」の傾向

### よかった点

「具体的な事例、実践的な内容があった」「新しい知識が身についた」が16%で最多。以下、「今後に役立つ内容だった」が13%、「科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった」が9%が続いていた。

図4-13 【大学院 オンライン】よかった点

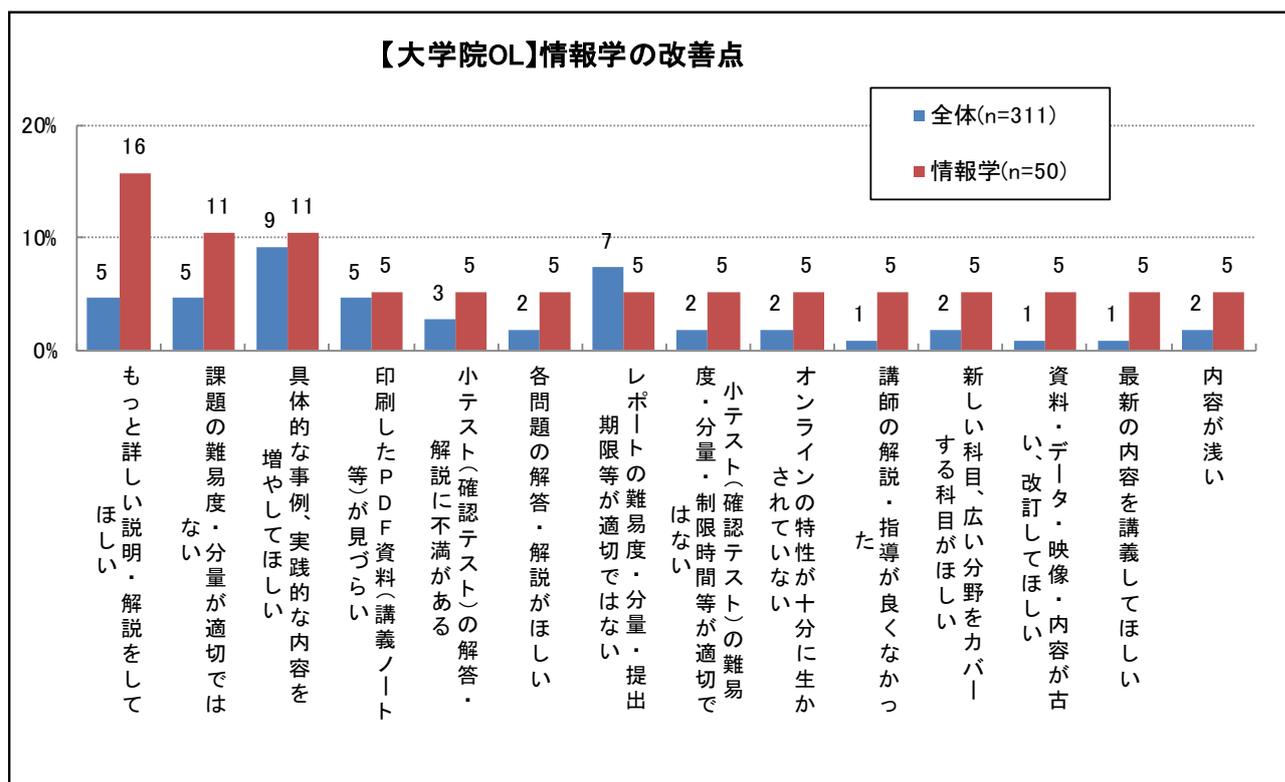


## 【大学院 オンライン】「情報学」の傾向

### 改善点

「もっと詳しい説明・解説をしてほしい」が16%で最多。「課題の難易度・分量が適切ではない」「具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい」が11%で続いていた。

図4-14 【大学院 オンライン】改善すべき点



## 【大学院 オンライン】「情報学」 抜粋

### よかった点

- 自分のペースで受講できること 動画なので、何度も見られること C や Java との言語比較をしてもらえたのがとてもありがたかった。(ここでつまづいていたので)
- Python のパッケージについて、なじみのなかったものを含めて、理解することができた。独学でプログラミングを学んでいた者には、役に立つ内容だと思いました。
- 1) 以前 python を始めた時環境の設定に苦労したが、今回は Google colab を使えたのでとてもよかった。 2) 興味のあったディープラーニングを体験でき良かった。
- Python の各モジュールについて理解が深まった。
- Python プログラミング & Google Colab について学習できた。 Python と Google Colab を、これからの研究に役立てていくことができるようになってきた。
- 複数のプログラミングの授業を受けて、最近のプログラミングの傾向と動向が少し見えてきた。
- プログラミングについて段階を踏んで、知りたいことがどんどん明らかになってい行った点が良かったと思います。
- 新たな知識を得られた。特に機械学習に触れられたこと。
- AI をどのように使うか理解できた。
- 機械学習や深層学習など、実際的にすぐ使えるような内容で、理解しやすかった。今後、ビデオを再学習しながら十分に理解したいと考えている。また、授業内で説明された内容をフォローしてゆきたいと考えている。
- 放送大学大学院修士課程情報学プログラム全科生として進学する準備ができた。
- 特に第 8 回のテーマに関心が湧き、更に学習したいという動機が湧いた点。
- Python には様々なパッケージがあることがわかった
- Python について、新しい知識が身についた。
- データサイエンスに使用できるライブラリを新しく知ることができたのが良かった。専門出ないので有名なライブラリであっても知らないものが多いです。
- Google Colab を使うきっかけとなり、深層学習についてより深く知る事が出来た。
- python を利用してのデータ分析について体系的に学ぶことができた。
- Python を使ってできることが色々知ることができて、とても有意義でした。 これからさらに理解を深めるための入口としていい授業であったと思います。
- 入門と比較してかなりレベルが高いと感じた。とても良かった。
- 幅広いので、重要なプログラミング法を重点的に訓練してもよい
- 自分の研究分野に関係する形でのデータ分析なので、自ら調べながら行うことがとても勉強になった。
- python のプログラミングについて理解できた。
- 自分のパソコンへの Python の学習環境をインストールせず、Google Colab で学習できたのはよかったです。 Google Colab の使い方の説明資料等が提供されていれば、もう少し学習しやすかったのではないかと、思います。
- Python の実際のコードを実行できる環境があるのが良かったです。
- 試行錯誤しながらであったが、プログラミングコードが書けるようになった。 それによって、データを可視化し分析できるようになった。
- 全体を通した。pdf 資料が有った方が良いと思います。
- 各講義でいいテキストと説明で分かりやすかったです。練習問題と小テストで知識を確認できたので、理解の助けになりました。

## 【大学院 オンライン】「情報学」 抜粋

### 改善点

- もう少しコードの解説の時間があってもよいのではと思いました。
- 本授業は、説明がわかりやすかったのと、新しい内容だったので、フォローしやすかった。何年が過ぎたときにビデオを改定してもらえると助かるのではないかな？
- 他の Python 科目「プログラミング入門 Python」のように、Google Colab を使用したノートがあれば良いと思った。
- 改善点は特にありません。さらに上級者コースのような続編があると良いと思います。
- Tensorflow が Python 3.13 に対応していないので、自宅環境で確認できない課題がありました。これはこの科目に対する改善要望ではありませんが、記載しておきます。
- Python ライブラリは日進月歩でバージョンアップされていくので、授業中の Python ライブラリのバージョンも毎年更新していくのが望ましいが、映像の撮り直しは厳しいので、ほかの方法を組み合わせるしかないかも？ただ、コードは、Google Colab で公開されていたので、実質的には、さほど問題ではありません。
- 限られた時間だから仕方がないが、全般的に内容が薄い。さらに勉強を進めるための指針を示して欲しい。
- 後半、パッケージの紹介に終止している感もあり、もう少し理論的説明も加えてよいのでは、と感じた。
- 実用レベルのプログラムの例を見てみたい
- プログラミングの応用として実践的な応用の具体例を示してほしかった。
- アナコンダのインストールの仕方についてももう少し詳しく説明してほしかった。
- 提示されたサンプル・プログラムを Google Colab に入力して動作するのは確認できますが、各回で説明されるパッケージ(pandas, Matplotlib, seaborn 等)を、どの様に連携させて使用すればよいのか、どのような時に、どのコマンドを使用するのか等の説明が少なすぎる為、実際にレポート課題でプログラムを作成する段階になって、どうすれば良いのか見当がつかず、困りました。機械学習等は、今回の ' ; プログラム応用 ; ' 科目に含めず、別科目の上級レベル科目とした方がよかったのではないかな、と思います。pandas, Matplotlib, seaborn 等のパッケージを連携させてプログラムを作成、動作させる実習等が、もう少しあれば、最終課題のレポート作成も、回答しやすくなったのではないかなと思います。
- 紙に教材を印刷して使っていたのですが、紙ベースだとコードの印刷が小さく見えづらいところがありました。
- 機械学習や深層学習の回の小テストの難易度が簡単に感じました。講義内容の中心的话题と設問がすこし離れているように思います。
- 1) 初級者にとってはレポートの課題が高いと感じました。 2) レポートは初級、中級と2段階であった方が良く感じます。
- 最終レポートで目安とされている A4 で 5~10 枚は少し多すぎると思う。
- 小テストの解答が少し不十分と感じた(授業で詳しく説明されていない内容は特に) 小テストの問題も、その回以前に学習した内容の確認と思われるものが多かったので、少し拍子抜けした。
- 講義内容と最終レポートの難易度に差があると感じた 生成 AI を用いる方法についてもよいのではないかな
- 自分ができなかった言い訳の部分も入ってしまうが、1~8 回の途中で最終レポートを作るうえでのヒントのようなものをちりばめてほしかった部分がある。やり方を学んだだけではどのようなものを作ればいいのかを掴むことができなかつたように思う。例えば、第〇回の技術を使うと「台風の進路予測が立てられます。」など。ただ、全体的にプログラミングのことが学べたため、講義自体は満足している。

【大学院オンライン】「情報学」

よかった点

(単位:人)

科目全般				設問解答			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
新しい知識が身についた			5	演習課題の説明が丁寧、分かりやすかった			1
具体的な事例、実践的な内容があった			5	学習内容の理解・整理に役立った			1
今後に役立つ内容だった			4				
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった			3				
理解しやすかった			2				
勉強になった			1				
興味・関心が持てた			1				
深く学ぶ(考える)ことができた			1				
学習意欲・知識欲がわいた			1				
体系的に学べた・理解できた			1				
最新の情報・研究が学べた			1				
内容・構成が良かった			1				
全体として満足している			1				

オンライン教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
受講しやすい環境だった			1

講義ノート・テキスト			
意見	テレビ	ラジオ	合計
良い教材だった			1

【大学院オンライン】「情報学」

改善点

(単位:人)

科目全般				オンライン教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
もっと詳しい説明・解説をしてほしい			3	オンラインの特性が十分に生かされていない			1
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい			2	講師の解説・指導が良くなかった			1
内容が浅い			1				
最新の内容を講義してほしい			1				
資料・データ・映像・内容が古い、改訂してほしい			1				
新しい科目、広い分野をカバーする科目がほしい			1				

設問解答			
意見	テレビ	ラジオ	合計
課題の難易度・分量が適切ではない			2
小テスト(確認テスト)の難易度・分量・制限時間等が適切ではない			1
レポートの難易度・分量・提出期限等が適切ではない			1
各問題の解答・解説がほしい			1
小テスト(確認テスト)の解答・解説に不満がある			1

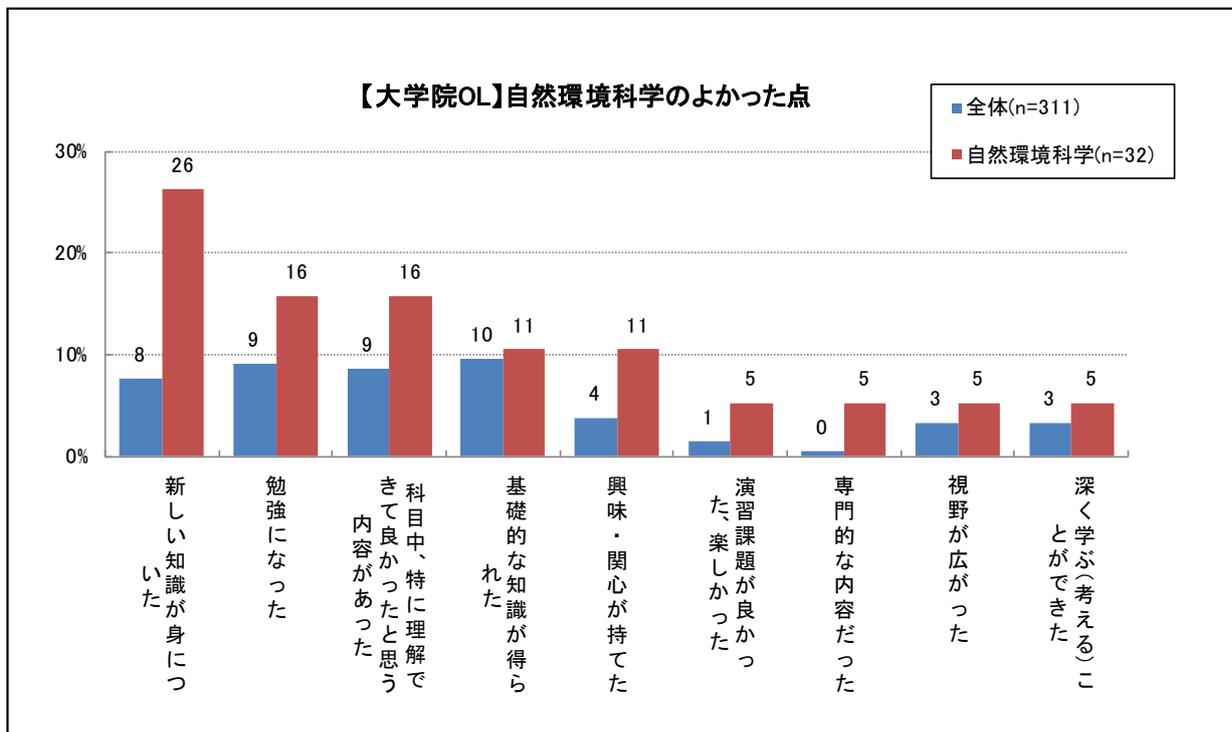
講義ノート・テキスト			
意見	テレビ	ラジオ	合計
印刷したPDF資料(講義ノート等)が見づらい			1

## 【大学院 オンライン】「自然環境科学」の傾向

### よかった点

「新しい知識が身についた」が26%で最多。以下、「勉強になった」「科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった」が16%で続いていた。

図4-15 【大学院 オンライン】よかった点

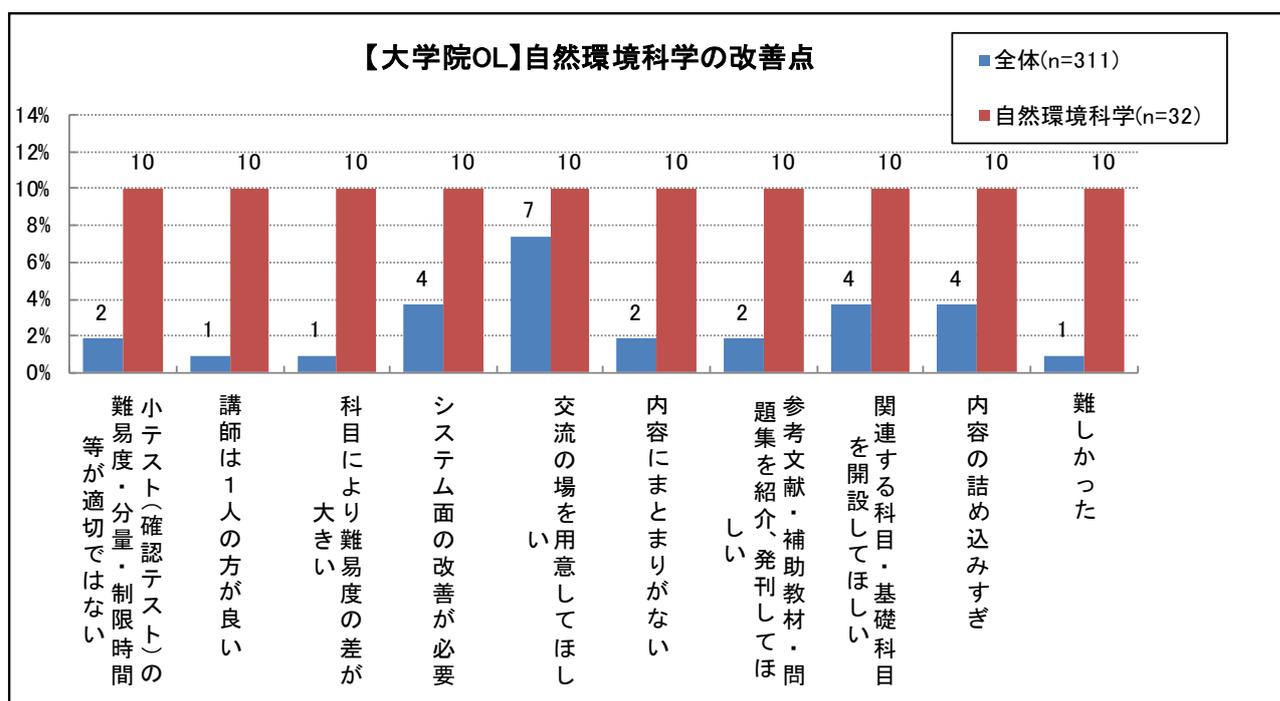


## 【大学院 オンライン】「自然環境科学」の傾向

### 改善点

サンプル数は少ないが、「小テスト（確認テスト）の難易度・分量・制限時間等が適切ではない」「講師は1人の方が良い」「科目により難易度の差が大きい」「システム面の改善が必要」「交流の場を用意してほしい」「内容にまとまりがない」「参考文献・補助教材・問題集を紹介、発刊してほしい」「関連する科目・基礎科目を開設してほしい」「内容の詰め込みすぎ」「難しかった。」が10%となった。

図4-16 【大学院 オンライン】改善すべき点



## 【大学院 オンライン】「自然環境科学」 抜粋

### よかった点

- 新しい知識を学ぶことができたことは満足ですが、講義内容のレベルに差が大きい。頑張っついでいきました。ありがとうございました。
- 様々な分野の知識を得られた
- 生物、地学、化学、物理、数学を満遍なく学習できたことが有難かった。
- 長くナチュラルリストとして活動してきたが、いろいろと新しい視差が開け、勉強というものは一生のものだと感じた点
- 様々なことが学習できてとてもよかった。
- 広く自然科学の概要に触れることができた。
- 生物学、環境学、地球物理学、量子化学、量子光学、熱力学、解析学、論理学と、各御専門の先生方の御講義を通して拝聴できる、貴重な機会を頂き、有難うございました。
- 知らない分野の知識を知れたのはよかった。
- いろいろな分野の講義内容を聞くことができて今後の学習の参考になりました
- 新たな認識を得られた
- どの回も大変興味深い講話であり、様々な研究の講義を聞く機会を得られたこと、自分の研究に関連する講義を聞くことで振り返りができたことがよかった点です。放送大学の敷地内で研究をされている講義や初めて聞く研究の講義、以前履修した授業に関連した講義もどれも興味深く、今後、放送大学で学んでいることを外部で活かしていきたいと思いました。
- 様々な自然科学の最新の話題のいくつかを深く学ぶことができました。
- いろいろな専門分野のさわりについて知見を得ることができた。
- 分子量が適当な数字から始まったことを思い出させてくれた。(水素分子がほぼ1になるように炭素分子を決めた。) や、新しい知識(差分方程式の面白さ)が得られて、これから何に繋がっていくのかワクワクしています。きっと、奥深いところで、何かと繋がっていて、そうだったのかと思う日がくるような気がしました。
- 自分の専攻ではない科目についても学ぶことができとてもよかった。特に第8回の隈部先生の数学は、難しい数式ではなく、論理的思考を養うための授業であったため、非常に勉強になった。どの専攻の方でも深く理解できる内容であると感じた。
- 大学で学んだことや、学べなかったことを、網羅して解説していただいて、大変勉強になりました。40年間の間に、特に物理・科学の分野が、大きく変化していて、なかなかついていけない部分も多かったですが、そのことを認識できただけでも、良かったと思います。
- 大学院レベルの授業を体験できた。
- 各担当講師の講義概略を体験することが出来、有意義だった。
- 二河先生と、加藤先生の話で更に理解が深まった。加藤先生のレポートは提出はしなかったが、身近なスズメについて考えるいい機会を得られた。

## 【大学院 オンライン】「自然環境科学」 抜粋

### 改善点

- YouTube の講義内容を紹介下さるのは嬉しいのですが、広告が入ってくるのが少し煩わしいと思いました。苦手な内容なので落ち着いて聞きたいと思いました。
- 参考文献を充実してほしい。
- 各回、担当教官が異なるのは構わないが、講座全体を通してのコーディネーターのような人の存在がなく、今回、やや戸惑った。今年度から開設された科目なので、今後に向けてはご検討いただければ幸いである。
- 入門やイントロとしては難しすぎると感じます。
- 全 8 回の話題の一貫性が今いち、取れていなかったような印象を受けました。例えば、8 回の各講義の副主題として「風」というテーマを各先生方に共通して考えて頂ければ、生物の先生は、鳥が飛ぶ際の風と翼の動きや花粉の飛散を、地球物理学の先生は、地球上の風の分布を、物理学の先生は、流体力学から光化学スモッグ、大気汚染の話題を、解析学の先生は、ベクトル解析を、論理学の先生は、コンパイラの作り方から流体解析のプログラミングを、と一貫したテーマで共通して学ぶことも可能なのかなと感じました。
- 分野外の人がそれぞれの短い講義で何を理解してほしいかをもっと端的にまとめた内容にするべきだと思う。理解するのが難しく消化不良になってしまう。
- 自然科学全般の知識が浅いことにいまさらながら気づかされた。
- ディスカッションしたかった。(しずらい雰囲気だった。)
- 難易度に少しばらつきがあった。 専攻ではないからかもしれないが化学系が難しかった。
- 練習問題と小テスト間のレベル差が大きいので、できれば小テストを練習問題よりにして欲しい。
- 課題が同プログラムの他の科目の数倍の物量で、正直詰んだかと思った。2 科目くらいに分けてもよ

【大学院オンライン】「自然環境科学」

よかった点

(単位:人)

科目全般				設問解答			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
新しい知識が身についた			5	演習課題が良かった、楽しかった			1
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった			3				
勉強になった			3				
興味・関心が持てた			2				
基礎的な知識が得られた			2				
深く学ぶ(考える)ことができた			1				
視野が広がった			1				
専門的な内容だった			1				

【大学院オンライン】「自然環境科学」

改善点

(単位:人)

科目全般				オンライン教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
難しかった			1	システム面の改善が必要			1
内容の詰め込みすぎ			1				
関連する科目・基礎科目を開設してほしい			1				
参考文献・補助教材・問題集を紹介、発刊してほしい			1				
内容にまとまりがない			1				
交流の場を用意してほしい			1				
科目により難易度の差が大きい			1				
講師は1人の方が良い			1				

設問解答			
意見	テレビ	ラジオ	合計
小テスト(確認テスト)の難易度・分量・制限時間等が適切ではない			1